ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
戦車道の
よこみち

ガールズ&パンツァー
戦車道のよこみち

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER

ガールズ&パンツァー 戦車道のよこみち

県立大洗女子学園をはじめ、乙女たちが歩んできた戦車道は、戦いのあとの物語や日常など、戦車を降りた“よこみち”に数多く枝分かれしています。全国大会での戦いの日々からちょっと“よこみち”にそれて、ほっこりするエピソードに触れてみませんか？

CONTENTS

登場キャラクター&チーム

物語の中心となる県立大洗女子学園（大洗女子）をはじめとする、“戦車道のよこみち”に登場したチームを紹介！　個人の紹介は出演回ごとにまとめていますのでそちらをご覧ください。

県立大洗女子学園

あんこうチーム

主人公・西住みほとその友達の計５人による、大洗女子の隊長チーム。当初の搭乗車はⅣ号戦車D型。はじめ、戦車道経験者はみほだけでしたが、各自の高い適性で快進撃の立役者となりました。

西住みほ

武部沙織

五十鈴華

秋山優花里

冷泉麻子

アヒルさんチーム

バレーボール部復活を目指す４人が結成。搭乗車は八九式中戦車甲型。何事も根性で乗りきろうとする傾向があります。

磯辺典子

近藤妙子

河西忍

佐々木あけび

カバさんチーム

歴女チーム。搭乗車はⅢ号突撃砲F型。車高の低さを活かした伏兵で活躍。戦況を歴史上の戦いに例えることを好みます。

カエサル

エルヴィン

左衛門佐

おりょう

ウサギさんチーム

澤梓

山郷あゆみ

丸山紗希

阪口桂利奈

宇津木優季

大野あや

１年生チーム。搭乗車はM3中戦車リー。初戦で敵前逃亡するなど当初は未熟でしたが、黒森峰戦で大物撃破を果たすほどに成長しました。

カモさんチーム

園みどり子

後藤モヨ子

金春希美

アンツィオ戦から参戦した風紀委員チーム。搭乗車はB1bis。おかっぱの長さで３人を見分けられます。

カメさんチーム

角谷杏

小山柚子

河嶋桃

生徒会チーム。搭乗車は38(t)戦車。対マウスなど、準決勝以降の重要な局面での活躍が光ります。

レオポンさんチーム

黒森峰戦で加入した自動車部チーム。搭乗車はポルシェティーガー。自分たちで戦車を組み立てるほどの技術力を誇ります。

ナカジマ

スズキ

ホシノ

ツチヤ

アリクイさんチーム

ねこにゃー

ももがー

ぴよたん

戦車ゲームの仲間によるチームで、黒森峰戦から加入。リアルの操縦に苦戦し、開幕直後に撃破されました。

ライバル校

ダージリン

アッサム

オレンジペコ

聖グロリアーナ女学院

全国大会準優勝の経験がある強豪校。練習試合ながら、大洗女子に唯一勝利した高校でもあります。

ケイ

ナオミ

アリサ

サンダース大学付属高校

大洗女子が全国大会初戦で対戦した優勝候補。戦車の保有台数は日本最多を誇る、リッチな高校です。

アンチョビ

カルパッチョ

ペパロニ

アンツィオ高校

全国大会２回戦で対戦。陽気だけどどこか抜けていて、資金難でも食にはこだわる校風のようです。

カチューシャ

ノンナ

プラウダ高校

準決勝の対戦相手で、前年の全国大会優勝校でもあります。引いてからの堅い守りを得意としています。

西住（にしずみ）まほ

逸見（いつみ）エリカ

黒森峰女学園

昨年みほが原因で準優勝にとどまるまで大会９連覇の最強校。全国大会決勝の舞台で相まみえました。

知波単学園

全国大会では黒森峰と１回戦で対戦して敗退。九七式中戦車（通称チハ）を大量に所有しているのが特徴です。

西（にし）絹代（きぬよ）

『ガルパン』の世界

イラストストーリー"戦車道のよこみち"をご覧になる前に、こちらのまとめで『ガルパン』の物語や設定などをおさらいしましょう！

STORY みほが歩む、新たな戦車道

西住みほはとある事情から戦車道のない県立大洗女子学園に編入。ところが、その学園で突如戦車道が復活し、経験者のみほに白羽の矢が立ちます。みほは隊長として、未経験者ばかりのチームに勝利を導くため奮闘するのです。

戦車道とは？

戦車道は乙女がたしなむ武芸で、茶道や華道などと同じように、多くの女性が学んでいます。大洗女子はかつて戦車道が盛んでしたが、廃止されて多くの戦車が売却されたそうです。

戦車道の由緒ある家元西住流

◀みほの実家が代々師範を名乗る流派。「戦車道といえば西住流」と呼び声高い。

戦車道のルールいろいろ

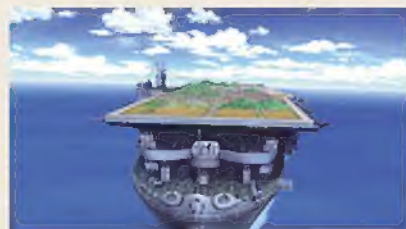
戦車は最低５輌必要

▶多くの学園は上限まで投入しますが、大洗女子は５輌そろえるのにもひと苦労。

行動不能は自動判定

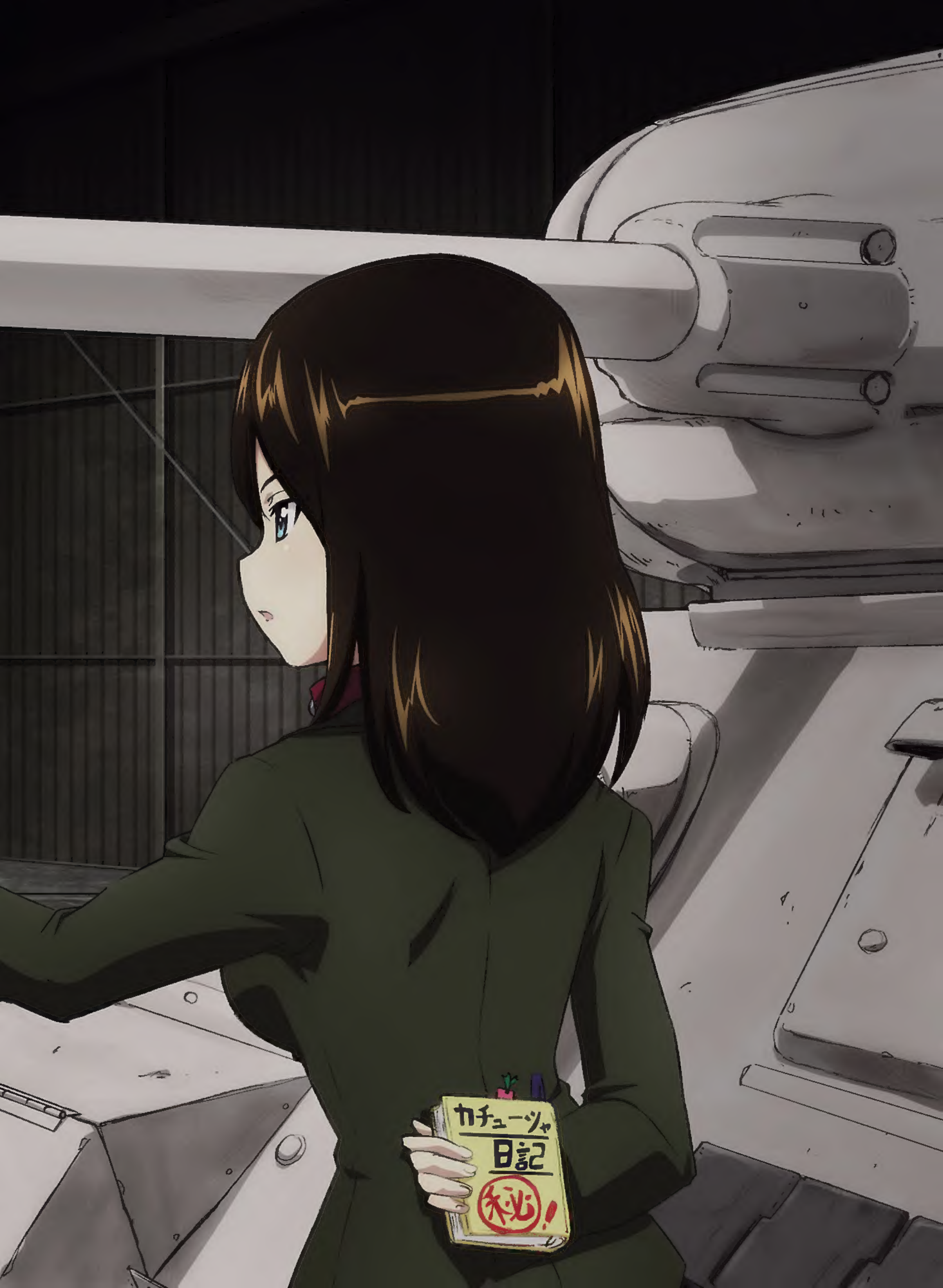
◀行動不能の被害で白旗が上がります。車体横や下から旗が出る原理はヒミツ☆

『ガルパン』世界の文化

戦車道が生活に根づいた、独特の文化が息づく作品世界。その様子が垣間見られるポイントを紹介します！

学園＋街＋空母の学園艦

◀学園艦は海に浮かぶ学園都市。ただ、近年統廃合の動きがあり、それが大洗女子にも影響します。

戦車道関連の店舗もいっぱい

▶戦車道のグッズがそろう"せんしゃ倶楽部"、戦車道の雰囲気が味わえる"戦車喫茶"など多数。

カチューシャ
日記
秘!

EPISODE 01

カチューシャ「うう……ううう……」

ノンナ「ズドラーストヴィチェ、同志カチューシャ。今日も精が出ますね」

カチューシャ「と……当然よっ！　偉大なるカチューシャがもっと偉大になるために、毎日のぶら下がり健康法は欠かせないんだから！　ううう、うぐぐぐ……」

ノンナ「腕が震えてますよ。少し休まれては？」

カチューシャ「ニェーット！　この程度で音を上げるようじゃ、ツンドラで生き抜くトナカイに笑われるわ」

ノンナ「トナカイだって休息は取りますよ」

カチューシャ「わたしがあんなツノだけは立派だけど毛むくじゃらな生きものと同じ能力なわけないでしょ！　今日は特別に昼休みが終わるまでやり続けて、カチューシャの精神力がいかに強いか、同志たちに見せつけるわ。これも指導者の義務ね」

ノンナ「そうですか。では昼食を摂る時間はありませんね」

カチューシャ「うっ……今日のメニューはなに？」

ノンナ「オクローシカ、豚のコトレータ、チェブレキ、それにシャルロートカです」

カチューシャ「じゅる……」

ノンナ「どうしました？　同志カチューシャ」

カチューシャ「し、食料を無駄にするのはもったいないから、５時間目と６時間目の間の休みに食べるわ。ちゃんと取っといて」

ノンナ「わかりました。ところで……」

カチューシャ「なに？」

ノンナ「前から聞きたかったんですけど、なぜぶら下がると偉大になれるんですか？」

カチューシャ「そ、それは……」

ノンナ「まさか、身長を伸ばしたくてぶら下がりを続けているわけではありませんよね？」

カチューシャ「なっ……!?　そんなわけないじゃない。大コーカサス山脈のように高く壮大な理念のためにやってるのよ。身長とか関係ないわ……ぐぐぐ」

ノンナ「壮大な理念がなんなのかはわかりませんが、ぶら下がり健康法では身長は伸びない、ということをご存知だったようで安心しました」

カチューシャ「え……そうなの？」

ノンナ「はい。姿勢はよくなりますが身長は変わりません」

カチューシャ「……」

ノンナ「がっかりしているんですか？」

カチューシャ「してないわ！」

ノンナ「落胆して腕の力が落ちたように見えたのですが」

カチューシャ「そんなことない！」

ノンナ「震えも大きくなってます。少し支えましょうか？」

カチューシャ「いらない！」

ノンナ「そうですか」

カチューシャ「手伝いはいいから、偉大なる指導者カチューシャの、信念の強さを記憶に焼き付けるのよ。忘れたりしたら承知しないんだから！」

ノンナ「その心配はありません。ちゃんと日記に……」

カチューシャ「え？　なに？」

ノンナ「……いえ、なんでもありません」

電撃 G's magazine 2013 年 12 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：杉本功　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
美術：片平真司（スタジオ・アカンサス）

プラウダ高校 隊長／車長
カチューシャ

CV：金元寿子

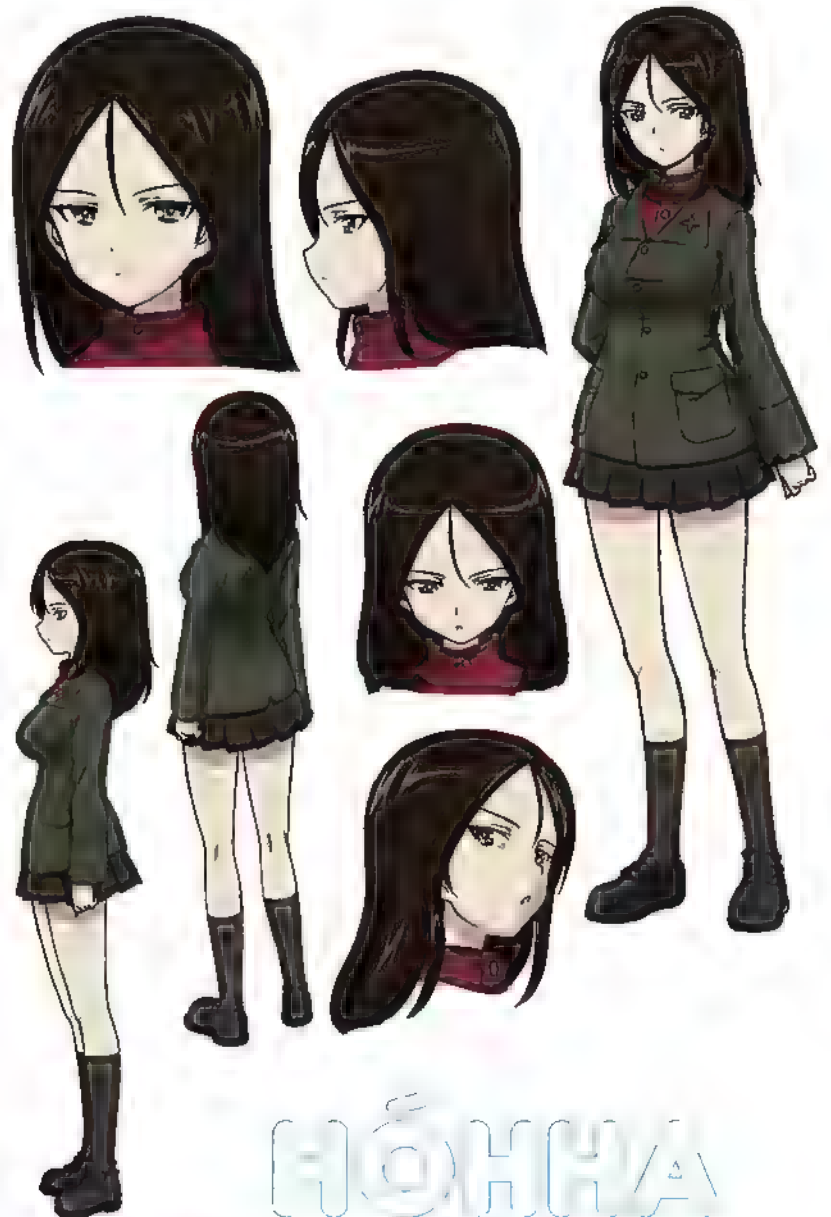
年齢：17歳　身長：127cm　血液型：B型　出身地：北海道網走市
日課：ぶら下がり健康器　好きな戦車：KV-2

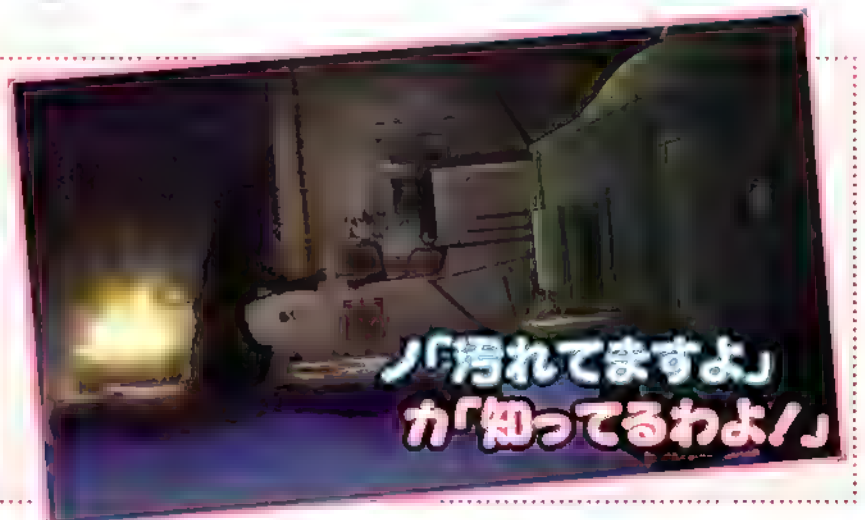
プラウダの"小さな暴君"。発言は尊大だけど、ノンナの肩車で見下そうとしたり、口の周りに食べこぼしをつけたりと、結構子供っぽい面も多いみたいです。

プラウダ高校 副隊長／車長／砲手
ノンナ

CV：上坂すみれ

年齢：17歳　身長：172cm　血液型：O型　出身地：北海道網走市
日課：カチューシャ日記　好きな戦車：SU-100

公私にわたってカチューシャをフォローしている、忠実な副隊長。あまり表情を変えず淡々と、しかし的確に命令を実行し、時にアドバイスを送っています。

まるで姉妹か親子!?
カチューシャとノンナの迷コンビ

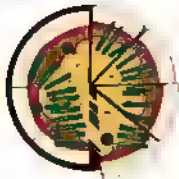
他人を見下ろすために、カチューシャの移動はノンナの肩車。食事の世話から寝るときの子守唄まで、小さな暴君のすべてをノンナが管理します。その姿はまるで母親!?

EPISODE 02 ANZIO

アンチョビ「よーし、午前の練習はここまで。みんな、プランゾだ！」
ペパロニ「つまりお昼ごはんっすね、アンチョビ姐さん！」
アンチョビ「今日も盛大に食べるよ～」
隊員一同「統帥（ドゥーチェ）ばんざーい！」
カルパッチョ「では作りましょう。まずはお湯を沸かして」
アンチョビ「ガンガン沸かすんだぞー。お湯たっぷりじゃないと、おいしいパスタはできないからな」
ペパロニ「ドラム缶で沸かします！」
アンチョビ「うんうん、これくらい豪快に行かないとね」
カルパッチョ「午後の練習で飲む予定の飲料水も入れちゃってますけど」
ペパロニ「うっ、つい勢いで全部……」
アンチョビ「細かいことは気にするな！　午後のことは午後になってから考えればいいんだ」
ペパロニ「なるほど！　さすがアンチョビ姐さんっす、一生ついて行きます！」
アンチョビ「で、今日のパスタは何パスタかな？」
カルパッチョ「スパゲッティ・ボロネーゼとスパゲッティ・カルボナーラとスパゲッティ・プリエーゼ、その他各種スパゲッティです」
アンチョビ「スパゲッティ尽くしだな。いい感じだ」
ペパロニ「沸騰しました！　パスタ投入します！」
アンチョビ「勢いよく入れろー」
ペパロニ「はいっ、ガツンと全部入れます！」
カルパッチョ「私は、ソースとお皿の準備を」
アンチョビ「任せたぞカルパッチョ」

――7分経過――
ペパロニ「そろそろできたかな …. 」
アンチョビ「まだだ！　慌てるな！」
ペパロニ「はっ!?」
アンチョビ「見たところアルデンテには早すぎる。もう少しだけ待とう」
ペパロニ「見ただけで茹で具合がわかるなんて、さすがアンチョビ姐さん、我らが統帥っす！」
隊員一同「おおおー！　統帥！　統帥！　統帥！　統帥！」
アンチョビ「ありがとう諸君、ありがとう」
カルパッチョ「あの、そろそろパスタが茹で上がっているのでは」
アンチョビ「ん？　おっと、すぐに引き上げるんだ！」
ペパロニ「えっ！　さっき『まだ早い』って……」
アンチョビ「アルデンテのタイミングはほんの一瞬だ。逃した時間は帰ってこない。というわけで早くしろ！」
ペパロニ「はいーっっっ！」
カルパッチョ「ソースと和えて……はい、できました♪」
アンチョビ「もぐもぐ……うまい！　これは絶品だ、みんなも食え。たくさん食え」
隊員一同「いただきまーす！」
アンチョビ「青空の下でみんなと食べるパスタは最高だな！」
ペパロニ「おいしいっす！　アンチョビ姐さん!!」
カルパッチョ「しっかりアルデンテになってます」
隊員一同「統帥最高！　統帥ばんざい！」
アンチョビ「よーし、みんな残さず食べるんだ！　午後からも頑張ろう!!」
隊員一同「はい！　統帥!!」

＊　＊　＊

ペパロニ「完食っす。アンチョビ姐さん！」
アンチョビ「みんな、午後の練習を始めるぞ！　……って、あれ？」
カルパッチョ「……寝てますね、みんな」
アンチョビ「どうした、みんな！　練習だぞ、起きろ!!」
隊員「……統帥～この日差しの中では練習はよくないですよ～それに食べてすぐ動くのも身体によくないです……zzz」
アンチョビ「……ふむ、それもそうだな。カルパッチョ、ペパロニ、我々も昼寝だ」
ペパロニ「え!?」
カルパッチョ「いいんですか？」
アンチョビ「細かいことは気にするな。我々はこの溜めたパワーを試合で爆発させる、そういうことだ」
隊員一同「zzz……さすがっす。……統帥ばんざい……zzz」

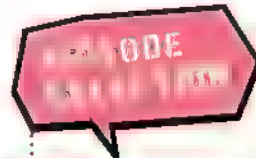
電撃 G's magazine 2014 年 2 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：杉本功　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）　美術：藤井かおり（bic・studio）

アンツィオ高校 隊長／車長

アンチョビ

CV：吉岡麻耶

年齢：17歳　誕生日：9月23日　血液型：B型
出身地：愛知県豊田市　好きな食べもの：ボンゴレ
好きな戦車：P40

巧みな用兵でアンツィオ高校の戦車道を立て直し、隊員たちから“ドゥーチェ”と慕われています。その一方で、あまり頭を使わない隊員たちに手を焼いている様子も。

ANCHOVY

イタリア人っぽい校風がアンツィオの弱点!?

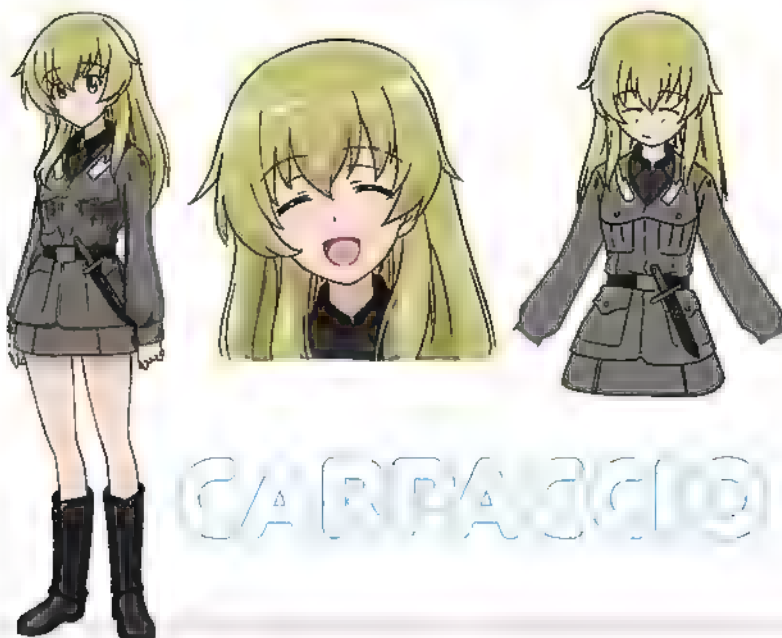
お気楽な隊員たちがそろっていて、アンチョビの作戦も不注意で台無しに。彼女自身も、うっかり決勝戦を寝過してしまいました……。

アンツィオ高校 副隊長／車長

カルパッチョ

CV：早見沙織

年齢：16歳　誕生日：12月19日　血液型：AB型　出身地：茨城県つくば市　好きな食べもの：ラザニア　好きな戦車：セモヴェンテ

アンツィオでは貴重な、落ち着きのある常識人。大洗女子のカエサルとは幼なじみで、“ひなちゃん（＝カルパッチョ）”“たかちゃん（＝カエサル）”と呼び合う仲です。

CARPACCIO

アンツィオ高校 副隊長／車長

ペパロニ

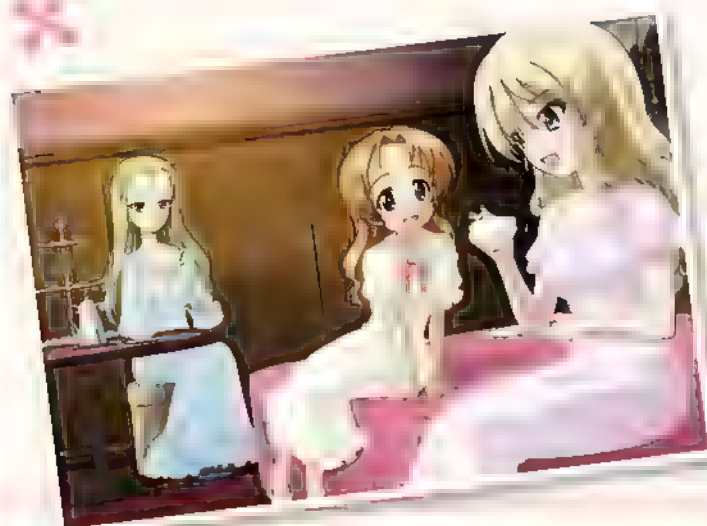
CV：大地葉

年齢：16歳　誕生日：9月12日　血液型：A型　出身地：栃木県芳賀郡益子町　好きな食べもの：ナポリタン　好きな戦車：CV33

アンチョビを“姐さん”と慕う、ノリが良くて大雑把な、アンツィオの生徒の典型です。OVAでも戦車の看板を予備まで設置し、作戦を見破られる原因を作っています。

PEPPERONI

EPISODE 03
DARJEELING & ASSAM & ORANGE PEKOE

ダージリン「このお茶は……ニルギリですのね」
アッサム「はい。今日インドから届きました」
ダージリン「素晴らしい香りですわ」
オレンジペコ「お菓子にもよく合いますね」
ダージリン「近衛兵のいないバッキンガム宮殿なんて、考えられないでしょう？　フフフ」
アッサム「え？」
オレンジペコ「紅茶あってこそのお茶菓子、ということですね？」
ダージリン「さすがね」
アッサム「遅ればせながら理解しましたわ」
オレンジペコ「それはいいとして、私たち就寝前なのですけど、こんな時間にお茶を飲むと眠れなくなりませんか？」
ダージリン「就寝前ではなくて、これはアフターディナーティーよ。一日を振り返りながらゆったりと時間を過ごすために、紅茶は欠かせないでしょう？」
アッサム「一日を振り返る……そうですね、今日の訓練においても、ダージリン隊長の指揮は優雅で華麗でしたわ」
オレンジペコ「紅茶もこぼれませんでしたし」
アッサム「私は、急旋回の際に少しこぼしてしまいました……」
ダージリン「まだまだですわね。聖グロリアーナ女学院の戦車道が目指す物は——」
アッサム「——勝利のみにあらず」
オレンジペコ「淑女(レディ)のたしなみを常に忘れぬこと、ですよね」
ダージリン「それが我が校の伝統。だから、紅茶をこぼさないことは基本ですの。フフフ」
アッサム「淑女のたしなみといえば、ウィットに富んだ会話も大切ですわね」
ダージリン「ええ、もちろん」
オレンジペコ「だからダージリン様はいつも、世界の名言集や格言集をお読みになっているんですね」
ダージリン「あなたにも名著を何冊か薦めて差し上げましょうか？」
オレンジペコ「ありがとうございます。せっかくですが、本は自分で選びます。ところでダージリン様にお伺いしたいことがあるのですが」
ダージリン「よろしくてよ」
オレンジペコ「一日に5回もお茶の時間があって、そのたびにお茶菓子も召し上がってらっしゃるのに、どうすればプロポーションを保てるのでしょうか？」
ダージリン「そうね……無理はよくないわ。食物繊維をちゃんと摂ればよろしくてよ」
アッサム「お野菜を多めにいただくのですか？」
ダージリン「ええ、そうね。とりわけキュウリをおすすめするわ」
オレンジペコ「あの、常々疑問に感じていたのですが、なぜキュウリなのですか？」
ダージリン「キュウリこそが、気品に溢れ、私たちにふさわしい食材ですわ。これがグロリアーナ流。あなた方もよく覚えておくことね」
オレンジペコ・アッサム「？？？」
ダージリン「フフフ……」

電撃 G's magazine 2014 年 3 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：杉本功　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
美術：片平真司（スタジオ・アカンサス）

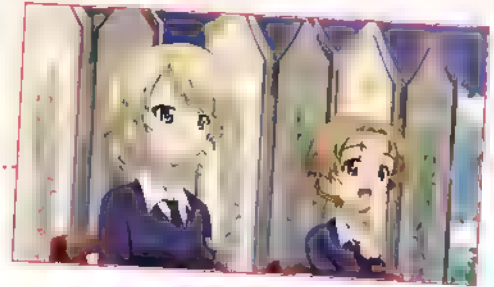
聖グロリアーナ女学院 隊長/車長
ダージリン
CV：喜多村英梨

年齢：17歳　誕生日：9月17日　血液型：AB型
出身地：神奈川県横浜市　好きな食べもの：ミートパイ
好きな戦車：センチュリオン

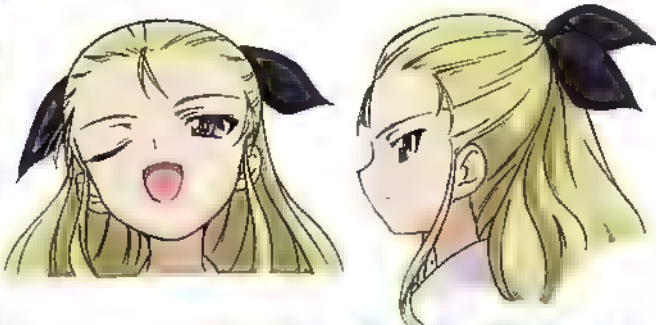
お嬢様然とした、おしとやかながらも少々高飛車な口調と、格言を用いた思わせぶりな発言が特徴。みほの戦いぶりを気に入り、友情の証として紅茶を贈っています。

DARJEELING

EPISODE SELECTION
全国大会の戦況の語り部

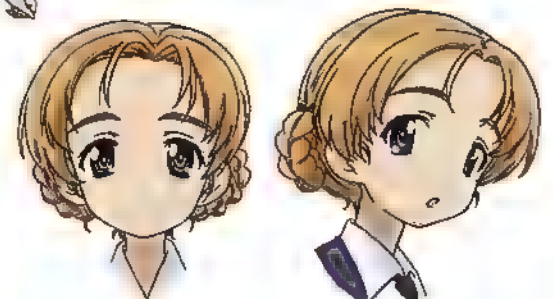
全国大会ではオレンジペコとともに大洗女子の試合を観戦。第三者の視点から戦況を語るポジションで物語を盛り上げてくれました。

聖グロリアーナ女学院 砲手
アッサム
CV：明坂聡美

年齢：17歳　誕生日：12月10日　血液型：O型
出身地：神奈川県横浜市　好きな食べもの：ランチョンミート　好きな戦車：チャレンジャー

ダージリンに似てジョークを好む性格。TV版ではあまり出番がありませんでしたが、劇場版ではエキシビションマッチなどで活躍。

ASSAM

聖グロリアーナ女学院 装填手
オレンジペコ
CV：石原舞

年齢：15歳　誕生日：7月10日　血液型：O型
出身地：神奈川県横浜市　好きな食べもの：ホットクロスバン　好きな戦車：クルセイダー

口数は少ないながらも華麗な装填技術に定評があります。試合観戦を通じてみほたちを応援するように。

ORANGE PEKOE

EPISODE 04 MIHO & MAHO

みほ「ふぅ……ふぅ……」
まほ「どうした？　いつも通り 10 キロほど流しただけだぞ。これで息が上がるような生ぬるい鍛え方はしていないはずだが」
みほ「ご、ごめんなさい……昨日あまり眠れなくて……」
まほ「常に体調を整えておけ。わずかなコンディションの乱れが命運を分ける……戦車道の試合で、嫌というほど見てきた。お前も知っているはずだ」
みほ「うん……」
まほ「私もまだ未熟だが、西住流の名を継ぐ者として恥じることのないよう、日々己を律しなければと思っている。お前も黒森峰の副隊長だ、それを忘れるな」
みほ「お姉ちゃん、そのことなんだけど……」
まほ「なんだ？」
みほ「あの……ほんとにわたしが副隊長で、いいのかな？」
まほ「なぜそんなことを聞く？」
みほ「だってわたし、まだ1年生だし……わたしよりも経験豊富で、みんなをまとめるのに向いてる先輩がいるんじゃないかな」
まほ「私も2年生だが隊長だ。学年は関係ない」
みほ「お姉ちゃんは実力があるから。でもわたしは……」
まほ「いいか、みほ。確かにお前は未熟だ。しかし、お前は、私や他の隊員には無いものを持っている」
みほ「そんなの、本当にあるの？」
まほ「ああ。だから副隊長を任せることにした」
みほ「お姉ちゃんにも無いものがわたしにあるなんて……」
まほ「いずれわかる」
みほ「……そうなのかな？」
まほ「話はここまでだ。身体が冷える前にストレッチを済ませるぞ」
みほ「そ、そうだね」
まほ「横になれ、みほ。私が伸ばしてやる」
みほ「じ、自分でやるよ」
まほ「駄目だ。セルフストレッチングよりパートナーストレッチングのほうが効率的だからな」

＊　＊　＊

みほ「……お姉ちゃん。どうしたらお姉ちゃんみたいになれるのかな……」
まほ「なにか言ったか？」
みほ「(汗) う、ううん、なんでもない」
まほ「そうか。よし、うつぶせになれ」
みほ「うう……えっと、こんな感じ？」
まほ「そうだ。まず、大腿筋を重点的にやるぞ」
みほ「はい……うっ！」
まほ「ん？　強く伸ばしすぎたか？　痛ければ我慢するなよ、ストレッチだからな」
みほ「だ、大丈夫」
まほ「そうか。」
みほ「う……くっ……ううっ……うっ……」
まほ「本当に痛くないのか？　堪えているように見えるが」
みほ「(涙目) うう、ちょっと痛いけど…」
まほ「？」
みほ「……あ、なんでもない！　でも、ちょっとお願いが」
まほ「なんだ、言ってみろ」
みほ「もう少しゆっくり伸ばしてほしいんだけど」
まほ「ふむ……これくらいでどうだ？」
みほ「うん、ちょうどよく伸びてる感じだよ。ありがとう、お姉ちゃん」
まほ「よし、そろそろいいか。次は私の番だ。頼む」
みほ「うん、わかった。じゃ、お姉ちゃんも横になって」

＊　＊　＊

まほ「……私は私、お前はお前だ。私のようにではなく、お前らしさを見つけてくれれば、それでいい……」
みほ「なにか言った？　お姉ちゃん」
まほ「いや……　そろそろ戻るぞ、みほ」
みほ「う、うん！」

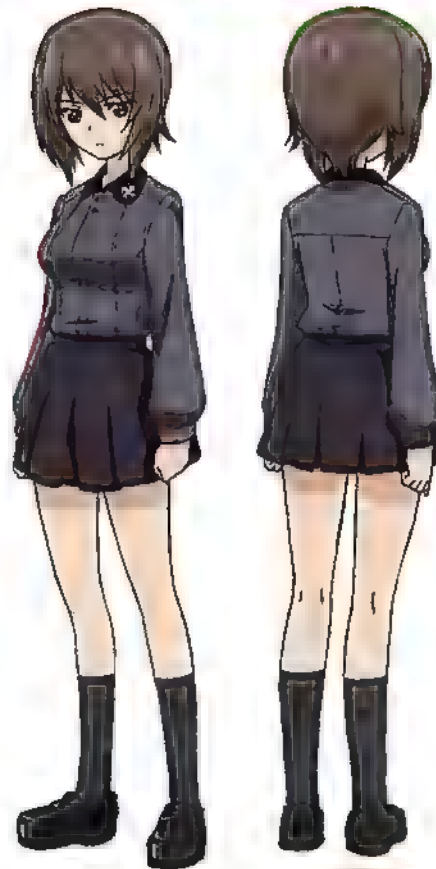
電撃 G's magazine 2014 年 5 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：杉本功　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）

黒森峰女学園 隊長／車長

西住(にしずみ) まほ

CV：田中理恵

年齢：17歳　身長：163cm　血液型：A型　出身地：熊本県熊本市
好きな食べもの：カレー　好きな戦車：パンターF型

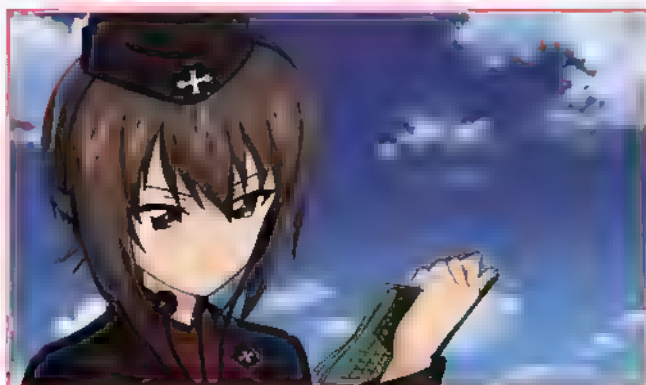
みほの姉で黒森峰女学園の隊長。西住流の後継者らしく、厳格で攻めを貫く用兵が特徴です。口数が少ないポーカーフェイスですが、時折妹思いの一面が垣間見えます。

MAHO NISHIZUMI

まほは多くを語らないけれど心優しい、妹のよき理解者

麻子の祖母が倒れた際に高校所有のヘリコプターを提供して麻子を助け、みほに対する母・しほの言動には一貫して妹の側に立った意見をする。鋭い眼差しと多くを語らない姿勢からきつい印象を与えやすいまほですが、試合を離れれば困っている人を見過ごさず、妹・みほの戦車道を理解し、評価していることがよくわかります。

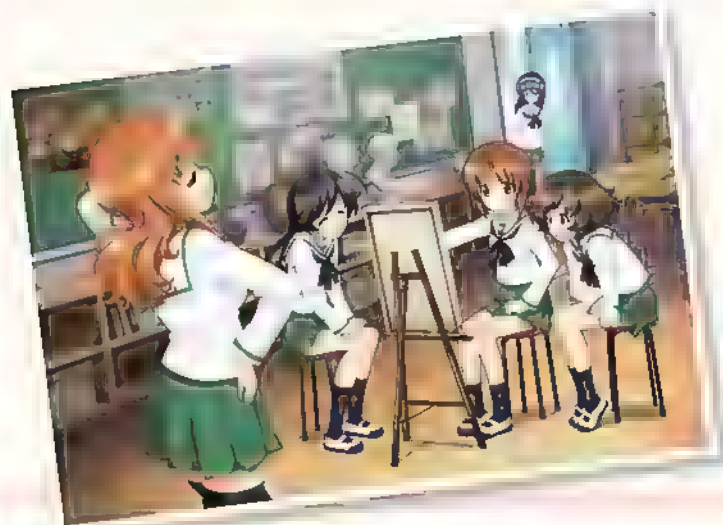
◀ヘリが目前で操縦も生徒。さすがは黒森峰。

▼決勝戦が終わり、自己流の戦車道を見出したみほに、まほが初めて微笑みを見せます。まほが口にする“みほらしい戦い”は劇場版でもキーワードに！

「みほらしい戦いだったな
西住流とはまるで違うが」

◀臨機応変な戦術のみほに対して、まほはあくまで攻めの姿勢で西住流を貫こうとします。

EPISODE 05 TEAM ANKOU

みほ「うーん、こうかな？」
優花里「あの……西住殿、いまどのあたりを描いていらっしゃるのですか？」
みほ「右腕の肘あたりなんだけど、角度が難しくて」
優花里「ひ、肘だったんですね！」
華「随分と長いような……二の腕が……」
みほ「あ、やっぱり長すぎるかな？　じゃあここを消して、あと、左腕も１回消して両方描き直すね」
[illegible]「いま消したのが腕だとすると、この真ん中あたりの曲線が、胸だったんですね」
みほ「ううん、ここは肩だよ」
優花里・華「えっ」
みほ「うーん、うまく描けないよ……」
沙織「どう、みぽりん？　モデルがいいと描きやすいでしょー？」
みほ「あ！　沙織さん、動かないで！」
沙織「大丈夫大丈夫、ちゃんとポーズ覚えてるから。こうでしょ？」
みほ「ほっ……ありがとう沙織さん。絵は苦手なんだけど、沙織さんがモデルをしてくれてるおかげで、いつもよりは全然描きやすいよ」
優花里「(小声) いつもよりはいい感じなんですね……」
華「(小声) そう言われてみると、前の課題の水彩画より、この絵のほうがわかりやすいような……」
沙織「これで美術の課題はばっちりクリアね」
みほ「うん。お礼に、あとでケーキごちそうするね」
麻子「……いま『ケーキ』と聞こえたんだが」
みほ「あ、麻子さん」
沙織「どっから出てきたのよ麻子」
麻子「たまたま通りがかった」

沙織「甘いものの話は聞き逃さないわねー」
麻子「ん？　それは、なにを描いているんだ？」
華「そこから見えるんですか？」
沙織「麻子は耳もいいけど視力もいいよね」
麻子「ふむ……ケーキの絵を描いているのか。それで、ケーキの話をしていたんだな」
みほ「ううん、違うよ。沙織さんを描いてるの」
麻子「な、なんだと!?」
華「(小声) あの部分がたぶん足なのでしょうけど、あまりにも……」
優花里「(小声)ええ。身体がひとつの塊のようになっています。そこに謎の丸い物体が乗っかっているので、イチゴのショートケーキに見えなくもないです……」
みほ「えーっと、もうちょっと、ウエストは細いよね」
沙織「そうそう。ウエストは細く描いて♪」
みほ「じゃあここを消して……えっと、スカートの裾は、こうなってて……」
優花里「に、西住殿、スカートこれから描くんですか!?」
みほ「うん、そうだよ」
華「あの……真ん中の少し下にある台形は、スカートではないのですか？」
みほ「え？　これは制服のスカーフだよ」
優花里「で、ではここにある突起は？」
みほ「沙織さんの鼻だよ」
華「そうだったんですか……まさか鼻だとは思いもよりませんでした」
優花里「これ、描き上がった絵を武部殿が見たら……」
華「ショックを受けるかもしれませんね……」
沙織「平気平気。みぽりんの絵がどういう感じなのか、私知ってるから」
みほ「沙織さん、もうちょっとで完成だよ！」
沙織「あー、急がなくてもいいよ！　みぽりん、のびのび描いてね！」
優花里「武部殿、菩薩のように広い心です……」
麻子「そ、それですませていいものなのか？」

電撃 G's magazine 2014 年 6 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：伊藤岳史　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：大石樹（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園 隊長
あんこうチーム 車長

西住みほ

CV：渕上舞

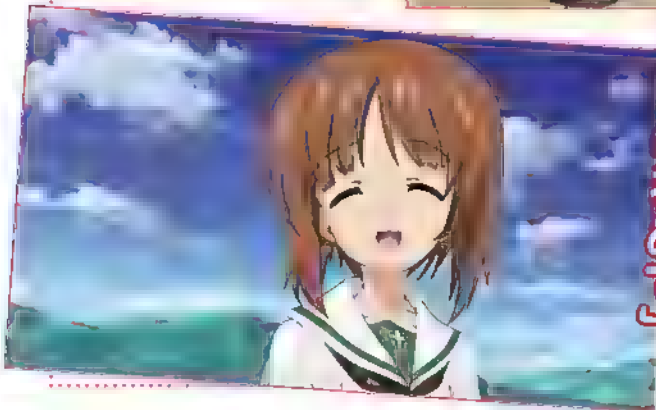
年齢：16歳　誕生日：10月23日　血液型：A型　出身地：熊本県熊本市　好きな食べもの：マカロン　好きな戦車：II号戦車E／F型

『ガルパン』の主人公。戦車道のない大洗女子に転入したものの、巻き込まれる形でふたたび戦車乗りの道に。変幻自在の戦術で大洗女子を全国大会制覇に導きました。

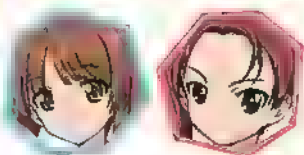
MIHO NISHIZUMI

大洗で芽生えた戦車道の楽しさ

厳しい規則のもと勝利最優先で戦車道をしてきたみほが見た、車内をデコったり車体のカラーリングを楽しむ仲間の姿。“戦車道が楽しい”という感情が芽生えた時でした。

「戦車で楽しいって思ったの初めて」

仲間との絆で苦い経験を克服

仲間を助けるためフラッグ車を放棄して敗北。黒森峰を去った苦い経験は、同様に危機に陥った1年生を助けたい気持ちを後押ししてくれた、友達によって克服できたのです。

「それでいいんだよね」

EPISODE 06 MIHO & ANZU

みほ「(ごしごし、ごしごし) ふぅ、あと半分くらいかな」
杏「いやー、随分きれいになったねー。さすが西住ちゃん」
みほ「ありがとうございます。でも、思ったより時間がかかっちゃって……」
杏「いーっていーって。ま、ひと息入れてアイスでも食べてよ。これ、西住ちゃんの分もあるからさ」
みほ「はい、ありがとうございます」
杏「いっぱいあるから、好きなだけ食べていいよー」
みほ「プールの掃除が終わったらいただきます。……でも、どうしてプールをきれいにしているんですか?」
杏「ここでちょっと盛り上がることをやろうと思ってねー」
みほ「水泳大会ですか?」
杏「にひひー」
みほ「……?」
杏「今年は、マーベラス・プレミアムハイブリッド金魚すくい大会! これで決まりだね!」
みほ「金魚すくいですか。お祭りみたいで楽し……えっ!? このプールで金魚すくいをやるんですか!?」
杏「うん。もう小山が特製ポイも注文済みだしね」
みほ「ポイ? ポイってなんですか」
杏「金魚すくいで使う、丸い枠に薄い紙を張ったやつだよ。あれが、ポイっていう名前なんだよ」
みほ「それで、みんなでプールサイドから手を伸ばして、ポイで金魚をすくうんですか……?」
杏「いやいや、水着になってプールに入ってすくうんだよ。そのほうが気持ちいいし面白いよ」
みほ「は、はあ……」
杏「金魚はイワシにカツオ、あんこうもはずせないね～。そしてなんといっても目玉はマグロ! いやー、1回マグロとかすくってみたかったんだよね～」
みほ「それ全部金魚じゃないんじゃ……本当にすくえるんですか?」
杏「だーいじょうぶ! 紙のところもすべてチタン製の特製巨大ポイを注文したから。きっと楽しいよー、燃えるね～」
みほ「(汗)あはは……」
杏「ところで西住ちゃん、7 4(セブンティーフォー)アイスの新作もう食べてみた?」
みほ「干し芋グレーンのことですか?」
杏「そうそう、細かく切った干し芋のつぶつぶがたくさん入ってるさつまいもアイスって、これはおいしそうだよねー」
みほ「そうですね、私も一度食べてみたいです」
杏「お、気が合うね～。んじゃ早速、これから一緒に74アイスに干し芋グレーンを食べに行こう!」
みほ「え? でもまだプール磨きが半分残ってますけど……」
杏「よーし、ちゃちゃっと5分で終わらせよう! 西住ちゃん、デッキブラシを4本貸して」
みほ「は、はい」
杏「それじゃ行くよー。……角谷流奥義! 四刀流米文字干し芋くずしー!! ってね。おりゃりゃりゃりゃー」
みほ「す、すごい……」

——5分後——

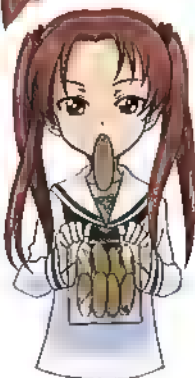
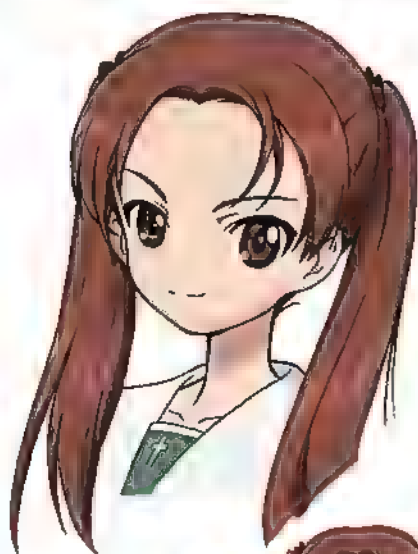
杏「ざっとこんなもんかなー」
みほ「ほんとに5分で終わっちゃった……プール磨きにも、流派があるんですね!」
杏「あははは、テキトーテキトー。その場その場でのノリと勢いも大事ってわかったしねー」
みほ「あう……」
杏「んじゃ西住ちゃん、プール磨きも終わったことだし、74アイスに行こうか」
みほ「でも会長さっきアイスを食べてましたけど大丈夫なんですか?」
杏「大丈夫大丈夫、干し芋は入るところが違うからねー」
みほ「そ、そうなんですか?」
杏「そうそう、それじゃ行くよ、西住ちゃん。74アイスに向けてー、パンツァーフォー!」
みほ「は、はい!」

電撃 G's magazine 2014年9月号掲載
文:岡田邦彦 原画:吉田恒良 仕上げ:原田幸子 特効:古市裕一 背景:中道菜緒(スタジオ・ちゅーりっぷ) 監修:杉本功

県立大洗女子学園
カメさんチーム（車長）

CV：福圓美里

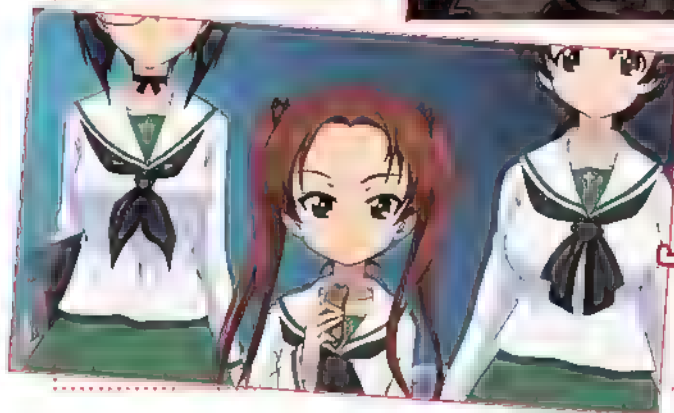
年齢：17歳　誕生日：1月1日　血液型：AB型　出身地：茨城県水戸市　好きな食べもの：干し芋　好きな戦車：T28

大洗女子の生徒会長。小柄だけど、何事にも動じない豪胆さと周囲への目配りの利く細やかさを兼ね備えている、スゴイ人！　干し芋が大好物でいつも口にしています。

背はちっちゃいけど大胆不敵な大物!

杏の態度はいつだってひょうひょうとしたもの。どんなピンチでもそれを貫けるハートの大きさが、周囲に動揺を与えず、大洗女子が力を発揮できる一因なのです！

「戦車道取ってね よろしく〜」

細やかな心づかいと学園への愛を秘める

戦車道復活は、廃校の危機を救う、わずかな可能性に賭けるため。みほにそれを打ち明けようか迷いつつも、のびのび試合をさせるために伝えない場面に人間味を感じます。

「私たちの学園、守れたよ」

EPISODE 07 YUKARI & CAESAR & ELWIN

優花里「本日はお誘いいただきありがとうございます♪　では早速準備体操をして……いやー、私、海で泳ぐなんて久しぶりです〜」
カエサル「なにを言っているグデーリアン。我々は水遊びをしに来たわけではないぞ」
優花里「え？」
エルヴィン「ちゃんとグデーリアンの分も用意しておいたから、使いやすいものを選んでくれ」
優花里「選ぶってなにを……あ、水鉄砲がズラリと」
カエサル「よし、私とエルヴィンは陸側に布陣する。グデーリアンは海側から侵攻だ」
エルヴィン「好敵手を前にすると、腕が鳴るな」
優花里「あのー、おふたりともなにを言ってるのでしょうか……」
カエサル「なぜ困惑する？　海岸といえばノルマンディー上陸に決まってるじゃないか」
エルヴィン「海辺に来たからには、歴史の大転換点とも言えるノルマンディー上陸をシミュレーションせずにはいられない」
優花里「は、はあ……それで、私が海側ということは、連合軍ですか？」
エルヴィン「そういうことになるな」
優花里「で、おふたりがドイツ軍……」
カエサル「そうだ」
優花里「でも､おかしくないですか？　当時のドイツは主にパ・ド・カレーへの上陸を警戒していて、ノルマンディーの防備は手薄だったはずです。なのに、連合軍がひとりでドイツ軍がふたりというのは……」
エルヴィン「その通りだ。やはりグデーリアンの知識は相当なものだな。我々が見込んだだけのことはある。しかし」
カエサル「ただ史実をなぞるだけでは意味が無い。『学習より創造である。創造こそ生の本質なのだ』っ！」
エルヴィン「『自分の人生は自分で演出する』っ！」
優花里「ジュリアス・シーザーとロンメル！　よくわかりませんがすごい説得力であります!!」
カエサル「納得してくれたみたいだな」
優花里「ええ、趣旨については了解しました。ですが、せっかくですからもう少し人数を増やしませんか？　人数が多い方が面白そうです！　そういえば左衛門佐殿とおりょう殿は、本日はいらしてないんですか？」
カエサル「来てるぞ。ほら、あそこだ」
優花里「あっ！　あんな遠くに！　おふたりともなにをしているんでしょうか？　砂で山を作っているような……」
エルヴィン「左衛門佐は上田城を建造中だ。おりょうは五稜郭を作っている」
カエサル「あのふたりは『砂浜に来たからには築城せずにはいられない』と言って、今日ここに着いてからずーっと城を築いている」
エルヴィン「ノルマンディーの後は攻城戦というわけだ。モンテ・カッシーノ並みの激しい攻防戦にしたいものだな」
優花里「なるほど！　それは素晴らしい考えです!!」
カエサル「では、開戦だ！　賽は投げられた！」
優花里「ひゃっ！　冷たっ！」
エルヴィン「よーし、一気呵成の先制攻撃で圧倒するぞ！　十字砲火だ！」
優花里「わわわー！　ちょ、ちょっと待ってください！　水着がびしょびしょに〜〜」
カエサル「はっはっは！　グデーリアン、水着はもともと濡れるものだ！」
エルヴィン「私たちの攻撃に翻弄されて、混乱に陥っているようだな！」
優花里「いやその一、なんで防御側が先制攻撃を!?」
エルヴィン「甘いぞグデーリアン。怪しいところには弾丸をぶち込め！　ロンメル閣下もそう言っている!!」
優花里「うひゃあああ。ここはアルデンヌでも森でもありませんよぅ」
カエサル「よし、そのまま追い込めエルヴィン。あと2メートル後退させれば、我々が朝5時に先着して掘った幅5メートル深さ2メートルの落とし穴に落とせるぞー」
エルヴィン「Ja（ヤー）」
優花里「シ、シャーマン！　水陸両用シャーマンの支援を要請するであります〜」

電撃G's magazine 2014年10月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：大石樹（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園
カバさんチーム 装填手

カエサル

CV：仙台エリ

年齢：16歳　身長：165cm　血液型：A型　出身地：茨城県つくば市
好きな食べもの：田舎そば　好きな戦車：ダ・ヴィンチ円形戦車、アリエテ

歴女チームのリーダー的存在。チームみんながそうであるように、名前は本名ではなくソウルネーム。得意分野は古代ローマ史で、イタリア語やラテン語にも堪能です。

CAESAR

県立大洗女子学園
カバさんチーム 車長兼通信手

エルヴィン

CV：森谷里美

年齢：16歳　身長：158cm　血液型：O型　出身地：茨城県つくば市
好きな食べもの：ソーセージ　好きな戦車：ヤークトパンター

近代ヨーロッパ史、特に第二次世界大戦にくわしい歴女で、中でもドイツをひいきしているようです。プラウダ戦では優花里と一緒に偵察任務に就いています。

ELWIN

謎スキルをいろいろと持っている

棒を倒す占いで戦車を探す方角を決めて的中させたり、水遁の術や水蜘蛛の術で戦車の捜索を行ったりと、もはや歴史のカテゴリーを超えたスキルをいろいろと持っているみたい。歴史の奥深さを感じますね！

県立大洗女子学園
カバさんチーム 砲手

左衛門佐

CV：井上優佳

年齢：16歳　身長：156cm　血液型：A型
出身地：茨城県牛久市　好きな食べもの：回転寿司
好きな戦車：M4 HVSS（105mm榴弾砲搭載型）

日本の戦国時代にくわしい。ソウルネーム、六文銭の鉢巻などから、真田家や真田幸村が特に好きであることがうかがえます。

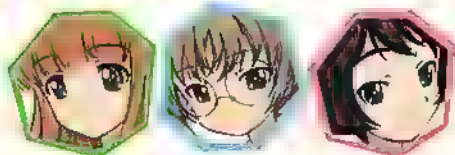
SAEMONZA

県立大洗女子学園
カバさんチーム 操縦手

おりょう

CV：大橋歩夕

年齢：16歳　身長：149cm　血液型：A型
出身地：茨城県つくば市　好きな食べもの：軍鶏
好きな戦車：ティーガーⅠ

日本史が得意で、特に幕末史の知識が豊富。坂本龍馬を尊敬していて、語尾に「ぜよ」とつけるなどでリスペクトを表しています。

EPISODE 08 SAORI & AYA & yuuki

優季「わぁー、いろいろそろってるー」
あや「ここが武部先輩おすすめのお店ですか？」
沙織「うん。トップスとかボトムスはもちろん、靴もアクセサリーも置いてるし、いいショップでしょ？」
優季「さすが武部先輩～♪」
沙織「さ、せっかくのお休みだし、みんなで思う存分見ましょ」
あや・優季「はーい♪」
沙織「私は、まずはスカートを……あ、このカーディガンいい感じかも」
優季「ニットですか？　ふわふわしててかわいい～」
あや「これからの季節にちょうどいいですね」
沙織「うん。でもちょっと高いか……」
あや「こっちに同じくらいの値段でノースリーブのトップスとカーディガンのセットがありますよ」
優季「お買い得だね♪　あやは目ざといな～」
沙織「ふむふむ、セットか。バラすと着回しがちょっと難しかったりするんだけど、逆に燃えるわ。購入候補に入れとこうっと」
あや「私、そろそろ靴買いたいんですよね。秋冬に向けてショートブーツとか」
優季「こっちにいいのあるよ～」
沙織「ウエスタンショートブーツね。あやちゃんは、こういうの似合いそう」
あや「値段は……うん、ちょっと厳しいけど買えなくは無いか。すぐには無理だけど来月のおこづかいで」
優季「今月メガネが無事ならね♪」
あや「ううっ」
沙織「え？　メガネ関係あるの？」
あや「戦車道の試合とか練習で、しょっちゅう割れちゃうんですよ。もう何回レンズを交換したことか（涙）」
沙織「それは気の毒だわ……」
優季「あ、このリボンかわいい♪」
沙織「優季ちゃん今日はアクセ目当て？」
優季「はい。制服とかパンツァージャケットを着てても付けるおしゃれって、アクセサリーかなって」
沙織「なるほど……たしかにその通りね。そういえばアンツィオ高校の隊長さんも、リボンがバッチリ決まってたし」
あや「あと、なにげに桃ちゃん先輩もチョーカーでおしゃれしてますよね」
沙織「負けてられないわ。よーし、私もアクセ買ってこ♪」
あや「私も、リボン大きいのにしようかな～」
沙織「あやちゃんは逆に、たまには髪を下ろしてみたら？　かなりイメージ変わると思うよ」
あや「えっと、こうですか？」
優季「わー、あや大人っぽくなったよ～」
あや「ほんとかなぁ・・・」
沙織「ほんとほんと。あとは、ネックレスとかブレスレットとか付けると、さらにレディな雰囲気になると思うなー。私は、そうね……イヤリングにしようっと」
優季「武部先輩、似合ってます～」
沙織「ありがと♪　でもこれよく考えると、戦車道してる最中は付けられないか……レシーバー耳に当てるとき邪魔になりそうだし」
優季「小さいのにすれば大丈夫だと思いますよー」
沙織「それもそうね。じゃあこっちのイヤリングにして、あとこのブローチも」
あや「私もこのブレスレット買います！」

――数日後――

沙織「誤算だったわ……」
あや「戦車の中でアクセ付けるのは、無謀だったんですね・・・」
沙織「揺れが激しくて落としやすいし、狭いし暗いし入り組んでるから、落とすと見つけるのはほぼ無理だし……」
あや「ブレスレット、もう出てこないだろうな…… 」
沙織「私のイヤリングも……」
優季「リボンにしておけばよかったんだよ♪」
沙織・あや「おっしゃるとおりで……」

電撃 G's magazine 2014 年 11 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田直良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：SAINA CISSE（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園
ウサギさんチーム 装填手

宇津木 優季

CV：山岡ゆり

年齢：15歳　身長：145cm　血液型：O型　出身地：茨城県ひたちなか市　好きな食べもの：カルボナーラ　好きな戦車：M24

結果が出るまで我慢できる辛抱強さが長所。彼氏に恵まれない沙織やアリサを、「戦車が恋人でいいじゃないですか！」と傷口に塩を塗りこむようになぐさめています。

県立大洗女子学園
ウサギさんチーム 副砲砲手

大野 あや

CV：秋奈

年齢：15歳　身長：150cm　血液型：B型　出身地：茨城県笠間市　好きな食べもの：カレー　好きな戦車：オチキス H35

副砲の砲手を担当。底抜けに明るいメガネっこで、個性的な趣味のひとつが面白ストラップ集め。チームエンブレムのウサギも彼女のストラップが元になっています。

県立大洗女子学園
ウサギさんチーム 車長

澤 梓

CV：竹内仁美

年齢：15歳　身長：151cm　血液型：A型
出身地：茨城県ひたちなか市　好きな食べもの：卵焼き（甘いやつ）　好きな戦車：コメット

面倒見のいいリーダー。なにかとにぎやかな6人の大所帯をしっかりまとめ、決断すべき場面で決断できる力があります。

AZUSA SAWA

県立大洗女子学園
ウサギさんチーム 主砲砲手

山郷 あゆみ

CV：中里望

年齢：15歳　身長：160cm　血液型：B型
出身地：茨城県小美玉市　好きな食べもの：ミートドリア
好きな戦車：ヤークトティーガー

主砲の砲手。長身でスタイルのいい外見に、性格はボーイッシュ。さっぱりとしている反面、ストレスをためやすいようです。

EPISODE 09 HANA & YUZU & MOMO

柚子「五十鈴さん、これくらいの長さでいい？」

華「はい。茎を水に浸けて……そうです。あとは水の中で、斜めに切ってください」

柚子「こう？（パチン）」

華「素晴らしいです♪　こうすると、お花が長持ちするんですよ」

柚子「へぇ〜。さすが五十鈴さん、お花のことはなんでも知ってるのね」

華「なんでも、というわけではありませんが、生け花にはコツがありますから」

柚子「やっぱり五十鈴さんにお願いしてよかった。私、ずっと生け花をやってみたかったの」

華「私でよろしければ、いつでもお手伝いします。家には道具も揃ってますし」

柚子「ありがとう。それで、中心になる花はこれでいいとして、他の花はどうすればいいのかな？」

華「中心の花の６割くらいの高さにするのが基本ですが、そこはこだわらず小山先輩の感じるままでよろしいかと」

柚子「うん……こんな感じかな？」

華「はい。素晴らしいです。きれいにまとまってますね」

柚子「五十鈴さんの教え方が上手だったおかげよ」

華「いえ、実は私、人に教えることにあまり慣れていないので、あまりうまくできなかったのですが……小山先輩はとても筋がいいと思います」

柚子「そうなの？　なんかそこまで褒められると、ちょっと照れちゃうね」

華「着物もよく似合ってますし、正座もきれいな姿勢を維持されてますから着崩れもありませんし、小山先輩は華道に向いていると思いますよ」

柚子「そうかな？　ありがとう五十鈴さん。生け花続けてみようかな。やっぱりお花があると、部屋がぱっと明るくなるし」

華「ええ、ぜひ！」

柚子「ところで……桃ちゃん、大丈夫？」

桃「う、うぐぐぐ……」

華「河嶋先輩、さっきからなにをなさっているのですか……？」

桃「見ればわかるだろう……あ、足がしびれて、動けんのだ・・・」

華「正座が苦手な方ってけっこういらっしゃいますけど、足がしびれたからといってそんな奇妙な格好になる方は、見たことがありません……」

桃「ぐぐぐ……いたたたた」

柚子「桃ちゃん、変なポーズ」

桃「足から始まったしびれが、全身に伝わってしまったんだ！お前ら、見てないでなんとかしてくれ！」

華「なんとか、と言われましても……しびれが収まるのを待っていただくしか……」

柚子「そうだよね」

桃「ぐぐ、ぐぬぬぬ・・・」

華「それより問題は河嶋先輩のお花です」

柚子「五十鈴さんから見て、あれはどうなの？」

華「そうですね……ちょっと個性的過ぎるというか……」

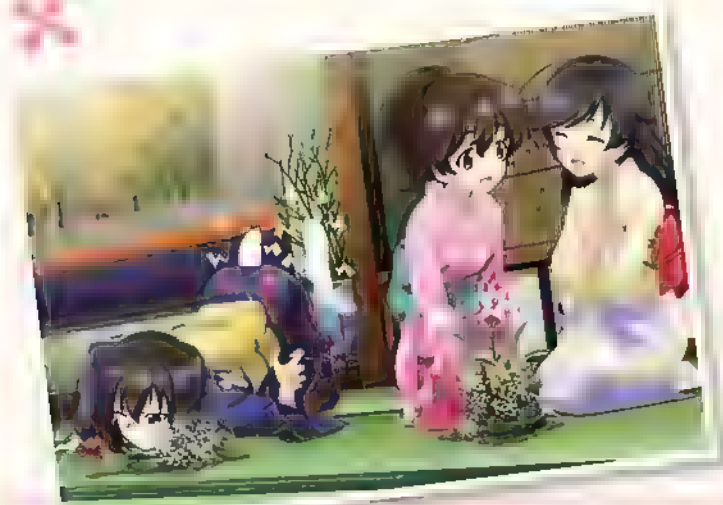
柚子「うんうん。私もそうじゃないかって思ってたの」

華「河嶋先輩のお花は中心になる背の高い花が傾きすぎですね。生け花は左右非対称が基本ですけど、限度を超えています」

桃「そ、そんなことより頼む！　なんとかしてくれ。いたたたた……」

華「大丈夫ですよ、河嶋先輩。あと何回かやれば、きっと河嶋先輩もきれいに生けられるようになりますよ」

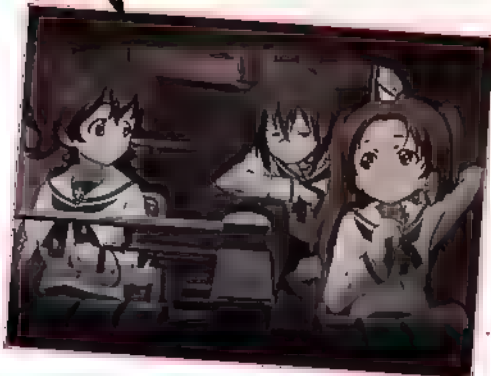
柚子「そうだよ桃ちゃん、また一緒にやろうよ！」

桃「いや、そうじゃなくて……いたたたた」

電撃 G's magazine 2014 年 12 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：宝代美里（スタジオ・ちゅーりっぷ）監修：杉本功

県立大洗女子学園 カメさんチーム 操縦手
小山 柚子
CV：高橋美佳子

年齢：17歳　身長：157cm　血液型：O型　出身地：茨城県水戸市　好きな食べもの：あんこう鍋　好きな戦車：九七式中戦車

生徒会副会長で、その巨乳はみんなのあこがれ。杏や桃と比べるとおっとりした性格の持ち主で、そのため他の２人に振り回されることもあるみたいです。

カメさんチームの戦闘とツッコミは柚子におまかせ

会長はなにもせず、桃は砲撃がヘタ。カメさんチームは柚子の操縦だけが便りです。強引でピンチに弱い桃へのツッコミも見どころの１つかも？

県立大洗女子学園 カメさんチーム 砲手・装填手
河嶋 桃
CV：植田佳奈

年齢：17歳　身長：164cm　血液型：A型　出身地：茨城県水戸市　好きな食べもの：いなり寿司　好きな戦車：ティーガーII

生徒会広報で、豪腕の会長・杏を支える参謀です。戦車道でも当初は隊長と作戦の立案を担いましたが、指揮官としての力量不足を痛感し、みほに役目を譲っています。

ピンチに弱くて涙もろい 理論派に見えてじつは感情的

ピンチでは真っ先に混乱、煽られるとすぐ怒り、優勝すると泣きどおし。第一印象は理論派な桃ですが物語が進むにつれて"ヘタレかわいい"面が発覚。

麻子「すーっ……すーっ……」
みどり子「冷泉さんダメじゃない！　こんなところで寝て！」
麻子「すーっ……」
みどり子「ちょっと冷泉さん！　起きて！（ゆさゆさ）起きなさい！（ゆさゆさ）」
麻子「すーっ……」
みどり子「こんなに揺さぶっても起きないなんて、まったくどういう神経なのかしら……」
麻子「すーっ……すーっ……」
みどり子「そもそも、昼休みだからって寝てばかりいるのはよくないわ！　寝てばかりいると、あっという間に成績が落ちて……あ、でもこの子勉強しなくても成績いいのよね……。でも！　だからといって昼休みに昼寝していいっていうわけじゃないわ！　学校は勉強するところで、寝るところじゃないのよ！　そもそもこんなところで寝るのは風紀委員として認められないわ！　あ、だからといって保健室ならいいってことじゃないから勘違いしないでよね。そんなの当然よ……って」
麻子「すーっ……すーっ……」
みどり子「……そもそも寝てるし聞いてないわよね。はぁ、なんだかちょっとむなしくなっちゃうわ……」
麻子「すーっ？」
みどり子「寝息で会話をしないでよ。さすがに寝てる時くらいはおとなしくしてもらいたいわね」
麻子「すーっ（にやり）」
みどり子「えっ？　今こころなしか、一瞬にやっとしたような……ちょっと冷泉さん！（ゆさゆさ）起きてるんじゃないの？（ゆさゆさ）」
麻子「すーっ……すーっ……」
みどり子「なによ、やっぱり寝てるじゃない。そうよ、おとなしく寝てればいいのよ。だって寝てる間はこのほっぺたも（つんつん）ほら、素直なものよ！」
麻子「すーっ……すーっ……」
みどり子「というか（つんつん）柔らかいわねこの子のほっぺた（つんつん）ふう〜、起きてる時もこれくらい素直だといいのに」
麻子「む……むむ……」
みどり子「はっ!?」
麻子「そ……」
みどり子「そ？」
麻子「そ〜ど〜こ〜」
みどり子「な、なによ！　起きてるの!?」
麻子「それは私の……ケーキだ……すーっ……」
みどり子「……いったいなんの夢をみてるのよ。驚かせないでほしいわ。それにしても、寝言でも『そど子』って呼ぶなんて、失礼にも程があるわ！　寝てる時は素直っていうさっきの言葉は取り消しね。やっぱり寝てても反抗的だわ（つんつん）」
麻子「すーっ……頼む、返してくれ……すーっ」
みどり子「ふぅ、あなたのケーキなんか取ったりしないわ。……まったく、一体どうすれば冷泉さんに、学生らしい風紀に則った生活習慣を身につけさせることができるのかしら（つんつん）」
麻子「すーっ……おいしい……すーっ」
みどり子「それはよかったわね。……でもこの子勉強はできるみたいだけど、こんな調子でこの先大丈夫なのかしら（つんつん）」
麻子「む……むむ……おお……」
みどり子「なによ、どうせまた寝言なんでしょ？　私が卒業するまでになんとかして生活習慣を……（つんつん）」
麻子「おお……きな……おせ……わ……だ」
みどり子「そうかもしれないけど、なんだかほっとけないのよ、あなたは」
麻子「大丈夫だ……なんとかなる」
みどり子「なに言ってるの。あなたこのままじゃろくでもない大人にしかならないわよ！」
麻子「それは……大人になってから考える」
みどり子「それじゃ遅いのよ！　……ていうか、もしかしてあなた起きてるの？　さすがに寝言と会話できるのはおかしいし……」
麻子「ああ、……人のほっぺたをつんつんするのは、やめてくれ……」
みどり子「ちょ、ちょっと！　あなたどこから起きてたの！　反則よ！　校則違反よ！　どこから起きてたのか教えなさい！（赤面）」

電撃 G's magazine 2015 年 1 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：SAINA CISSE（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

“よこみち”の登場人物やアニメでの活躍を振り返る

戦車道仲間を紹介します！ 第10回

県立大洗女子学園
あんこうチーム 操縦手

冷泉 麻子

CV：井口裕香

年齢：16歳　誕生日：9月1日　血液型：AB型　出身地：茨城県大洗町　好きな食べもの：ケーキ全般　好きな戦車：パンターG型

沙織の幼なじみで口数が少なくぶっきらぼう。説明書で戦車の操縦をマスターするほどの秀才ですが、朝が大の苦手で、進級が危ういほどの遅刻欠席を重ねています。

EPISODE SELECTION

麻子が唯一恐れ大事にする“おばあ”

麻子の祖母は彼女の唯一の肉親。怒られるのをなによりも怖がり、倒れたと知った時の動揺からも、大切な存在であることがうかがえます。

県立大洗女子学園
カモさんチーム

CV：井澤詩織

年齢：17歳　身長：145cm　血液型：A型
出身地：茨城県つくば市　好きな食べもの：とんかつ
好きな戦車：チーフテン

風紀委員のひとりで通称“そど子”。几帳面な性格で、遅刻の常習犯・麻子を注意している光景がよく見られます。

MIDORIKO SONO

県立大洗女子学園　カモさんチーム 操縦手

後藤 モヨ子

CV：井澤詩織

年齢：16歳　身長：145cm
血液型：A型　出身地：茨城県つくば市
好きな食べもの：ちらし寿司　好きな戦車：TOG2

通称“ゴモヨ”。おかっぱの長さがそど子より長いのがポイントです。我慢強い性格。

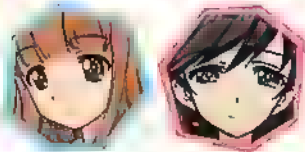
MOYOKO GOTOU

県立大洗女子学園 カモさんチーム

CV：井澤詩織

年齢：16歳　身長：145cm　血液型：A型
出身地：茨城県つくば市　好きな食べもの：ひじきの煮つけ
好きな戦車：ブラックプリンス

通称“パゾ美”。おかっぱの長さはそど子より短いのが特徴です。趣味は映画鑑賞だとか。

NOZOMI KONPARU

EPISODE 11 SAORI & HANA

沙織「ごめんね華～（泣）」
華「とにかく、保健室に急ぎましょう」
沙織「ありがとう、もう自分で歩けるよ」
華「ダメです。無理をしてはいけません、さっきまで足がふらついていたんですから」
沙織「ううう……でも華、これちょっと恥ずかしくない？」
華「そうですか？　恥ずかしいと思うから恥ずかしいのではないですか？」
沙織「そーかなー？　これっていわゆる『お姫様抱っこ』でしょ。これが男の人だったらドキドキで甘々なシチュエーションじゃない？」
華「……されたこと、あるんですか？　それにしても、びっくりしました。沙織さん、練習中にいきなり倒れましたから」
沙織「うん、自分でもびっくりした」
華「睡眠不足ですか？　顔色もよくないようですけど」
沙織「えーっと、睡眠はちゃんと取ってるんだけど……」
華「では体調でも崩したのですか？」
沙織「いや、実はその一、先週からダイエットを実行中で……今朝も朝ごはん抜いてきて、たぶんそのせいで貧血気味になっちゃったみたい」
華「まあ、よくないですよ沙織さん。ごはんは三食、きちんと食べないと」
沙織「で、でもでも！　きちんと食べてたらどんどん体重が増えていくんだもん！」
華「沙織さんは間食が多いですから。ごはんを控えるよりおやつを控えた方がいいのではないですか？」
沙織「う……やっぱり寝る前についい、甘いものを食べたくなっちゃうんだよね。ここ最近は、ダイエット中だからがまんしてるけどさ。でもそれだけじゃ体重がなかなか落ちないから……」
華「だからといって朝ごはんを抜くのはダメです。身体によくないですよ」
沙織「じゃあどうすればいいのよ～！　華がわたしの体重持ってってくれるの!?」
華「それはできませんけど、沙織さんはもっと身体を動かすようにすればいいのでは？」
沙織「え～……戦車道の練習ってハードじゃない？　乗り降りだけでも割と運動になるし、車内も揺れるから身体を安定させるのに全身を使うんだよね。結構カロリーを消費してると思うんだけど」
華「確かにそうですね。それでも体重がなかなか減らないのは、まだ運動量が足りてないのではないですか？」
沙織「そっか～。でも増やすにはどうすれば……」
華「バレー部の皆さんから聞いたのですが、座るときおしりを椅子に付けないようにするといいそうですよ」
沙織「あんなに揺れる戦車の中で空気椅子やれって言うの!?　無理無理無理！　絶対無理！　つかバレー部のみんなってそんなことやってるの!?」
華「練習の合間に砲身で懸垂（けんすい）するとか」
沙織「主砲撃った後だとヤケドしちゃうから！」
華「砲弾を片手で上げ下げしながら通信手のお仕事もこなすとか」
沙織「それ揺れたら砲弾落として大惨事確定だから……」
華「そうですか。残念です……」
沙織「う、華が考えてくれるのは助かるんだけど、もっと普通のにしようよ」
華「ではみほさんを見習って毎朝ジョギングをする、というのはどうでしょう？」
沙織「あ、それいい！　みぽりんが一緒なら続けられそうな気がするし。ついでに麻子を起こしにいけば一石二鳥♪　華も一緒にやってみない？　ゆかりんも誘ってみんなでやるのはどうかな」
華「そうですね、みんなでやるのは楽しそうですね」
沙織「ところで華、ここまで運んでもらっていまさらだけど、大丈夫？」
華「大丈夫ですよ」
沙織「そっか。じゃあ少しはダイエットの成果が出てるかな」
華「あ、いえ、大丈夫とは言いましたけど、重くないとは言ってませんよ、沙織さん♪（にっこり）」
沙織「むー、絶対ダイエット成功させるんだから！」

電撃 G's magazine 2015年2月号掲載
文：岡田邦彦　原画：山口飛鳥　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園
あんこうチーム 砲手
五十鈴 華

CV：尾崎真実

年齢：16歳　誕生日：12月16日　血液型：B型　出身地：茨城県水戸市
好きな食べもの：柏餅　好きな戦車：カルロ・ベローチェ L3／33

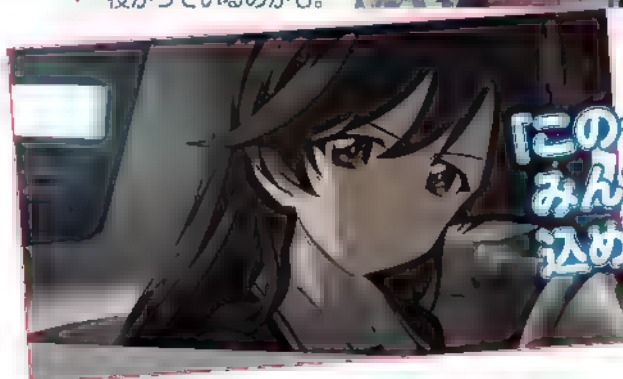
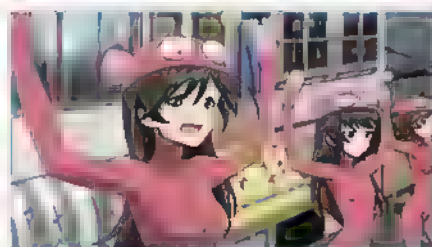
沙織といっしょに最初にみほの友人になったのが華。華道五十鈴流家元の家柄らしく、礼儀正しくおしとやかな女の子です。度胸があり、大食漢な一面もあります。

HANA ISUZU

戦車道との出会いで華道に新境地

自分の生け花になにかが足りないと感じていた華。戦車道を通じ、可憐で清楚な生け花に大胆な力強さを加え、母も認める作品を作り上げました。

集中力と不動の心で名砲手へと開花!

勝敗を左右する一撃を確実に決める名砲手。生け花で培った集中力と、麻子の祖母の一喝やあんこう踊りにも動じない度胸が、一役かっているのかも。

EPISODE 12 SAORI & MAKO

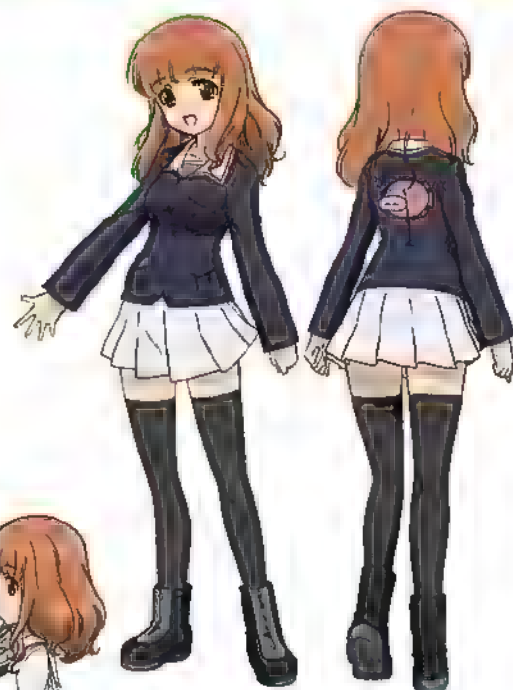
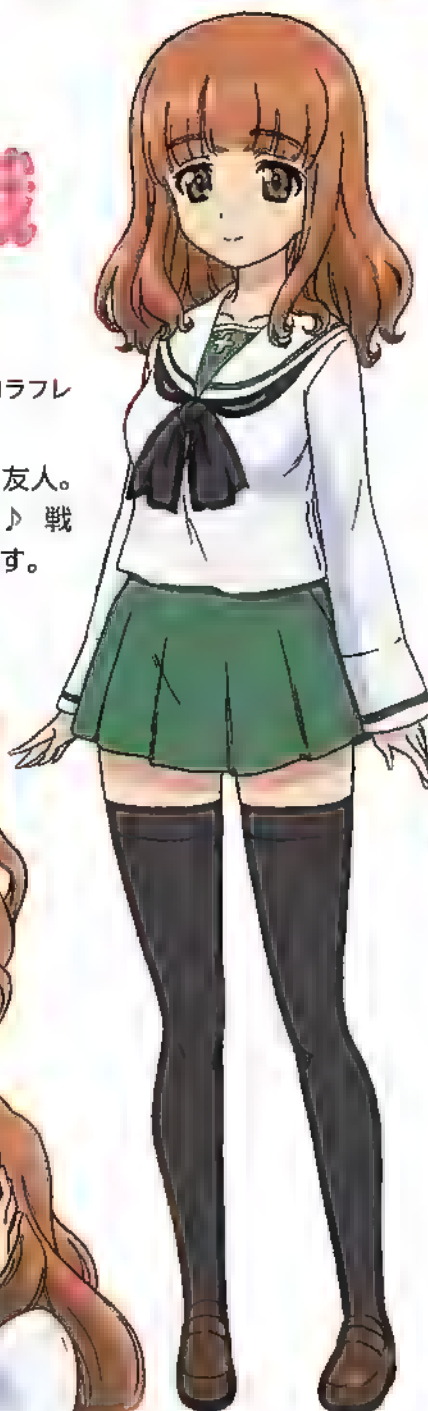
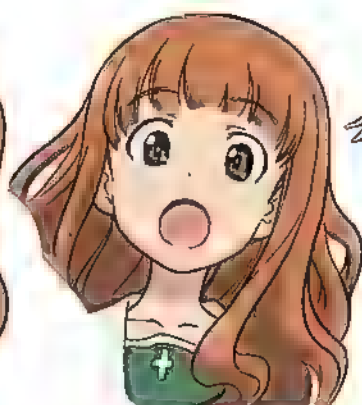
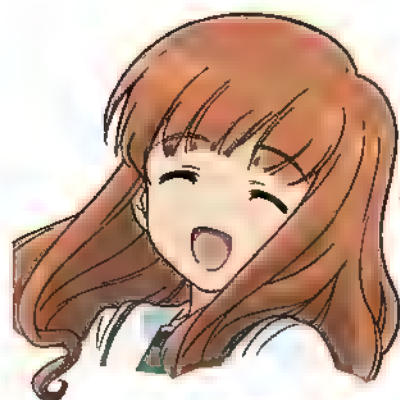
沙織「……よし、いい感じ！」
麻子「えらく真剣だな」
沙織「当たり前よ、一番重要なところをやってるんだから。ここで失敗するとすべてが台無しだよ」
麻子「チョコレートひとつ作るのも大変なんだな」
沙織「だいたいみんな、テンパリングで失敗するのよ」
麻子「なんだそれは？」
沙織「チョコレートを滑らかな口当たりにするには、温度が大事なの。これをテンパリングっていってね、まず50℃まで加熱して溶かしてから、27℃まで冷まして、その後32℃にするのよ」
麻子「なんでそんな面倒なことをしなければならないんだ？50℃にした後、直接32℃にするのはダメなのか？」
沙織「ダメ。手を抜くとザラザラで口溶けの悪いチョコになっちゃうよ」
麻子「不思議なものだな」
沙織「そうね、なんでそうなるのかはわかんないけど、実際そうなっちゃうんだよね。麻子、アンタ勉強得意なんだから調べて私に教えてよ」
麻子「興味ない。というかなんでわざわざカカオマスからチョコレートを作ろうと思ったんだ？　普通は市販のものを溶かして型に流して固めたのを手作りというんじゃないのか？」
沙織「ダメダメ。そんなんじゃ、渡す相手に愛情は伝わらないよ」
麻子「そうか、渡す相手ができたのか」
沙織「そ、そうよ……渡す相手がいるから作っているんじゃない」
麻子「よかったな沙織。て、誰に渡すんだ？」
沙織「うっ……」
麻子「まあ、聞くまでもないか」
沙織「じゃあ聞かないでよ！（涙）」
麻子「結局誰に渡すんだ？」
沙織「戦車道チームのみんなと、蝶野教官と審判の人たち。あとサンダースと聖グロリアーナとプラウダと黒森峰とアンツィオと……」
麻子「すがすがしいくらい女ばかりだな」
沙織「……うん。だから、いわゆる友チョコだね」
麻子「しかしそれだけの数を配るとなると、相当たくさん作らないと足りないんじゃないのか？」
沙織「そうだよ。だから私ひとりじゃ手が足りないと思って、麻子を呼んだんだよ（にっこり）」
麻子「私を巻き込むな」
沙織「いーじゃん別に。麻子だってチョコ渡したい人、いるんじゃない？」
麻子「……おばあにあげたい」
沙織「でしょー。じゃあちゃんと手伝ってね」
麻子「わかった（ペロリ）」
沙織「ちょっと、なにつまみ食いしてるの。まだ全然途中なのに」
麻子「味見は必要だろう。なかなかおいしかったぞ」
沙織「そりゃそうよ、作ってるの私だし。だから、味見は必要なし！」
麻子「料理に関してはすごい自信だな」
沙織「さてと。そろそろ温度が落ち着いたかな？」
麻子「次はなんだ？」
沙織「あとはもう、型に流して冷やして固めれば完成だよ」
麻子「最後は簡単なんだな」
沙織「簡単だけど数が多いし、ラッピングだってあるんだから麻子の仕事はここからが本番だよ～」
麻子「わかった、付き合おう」
沙織「そして私はもうひと手間。ホイップでチョコにメッセージを描くわ。『いつもありがとう、感射のしるしです』……っと」
麻子「感謝の『しゃ』の字が間違ってるぞ」
沙織「しまった……」
麻子「これはもう使えないな」
沙織「うーん、このままでもいいかな♪　ちょっと失敗があった方が手作りっぽくてモテ度アップ、って感じがしない？」
麻子「渡す相手が女しかいないんだから、単に漢字も書けないかわいそうな子と思われるだけじゃないのか？」
沙織「うっ！　そうかも……じゃあ麻子コレ食べて」
麻子「しょうがない、処理してやるか（ニヤリ）」

電撃 G's magazine 2015 年 3 月号
文：岡田邦彦　原画：山口飛鳥　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：SAINA CISSE（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園 あんこうチーム 通信手
武部 沙織

CV：茅野愛衣

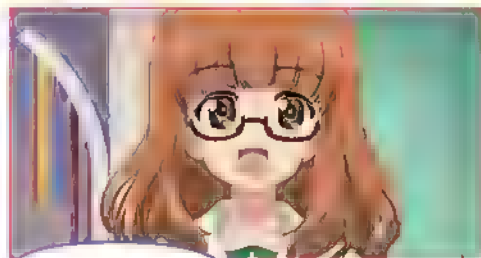
年齢：16歳　誕生日：6月22日　血液型：O型
出身地：茨城県大洗町　好きな食べもの：ドーナツ（ショコラフレンチ）、納豆　好きな戦車：M26パーシング

沙織は華と同じく、みほの大洗女子での最初の友人。恋愛を夢見て女子力を高めていて、特に料理が評判♪　戦車道に関係する勉強を欠かさない努力家でもあります。

SAORI TAKEBE

彼女にしたい度No.1 沙織はできるコ！

思いやりがあって努力家で料理も得意！　未来のカレのために日夜女子力を高めているのに、沙織は恋愛経験がいまだゼロのようです。彼氏志望の男子はいっぱいいると思いますよ！

人の気持ちを察するのが得意

◀転覆しそうな1年生チームを助けたいみほの気持ちを後押し。これはかなりポイント高いですよ！

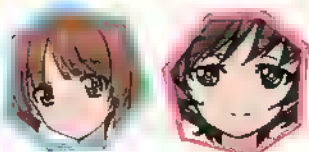
こんなにできるのにモテない!?

料理が得意など女子力が高い

▲料理ができるのは大きなアドバンテージ？　得意料理は定番の肉じゃが。

面倒見がよく皆に慕われる

▼麻子を朝早く起こしに行ったり、1年生の面倒を見たりと、尽くすタイプのようです。

努力家で的確に任務を遂行

▲通信手を極めるためにアマチュア無線2級を取得するほどです。

EPISODE 13 MIHO & YUKARI

優花里「西住殿と体育の授業で、こうしてご一緒できるなんて……光栄であります！」
みほ「光栄だなんて……ちょっと大げさかな？」
優花里「なにをおっしゃいますか。普段はクラスが違いますから、こんなことはめったにありません！」
みほ「そう言われればそうかな」
優花里「そうです！　今日の授業は合同演習……もとい、クラス合同授業ですから！」
みほ「ところであのー、優花里さん……そろそろ交代しよう？」
優花里「いえ、まだまだ大丈夫です。西住殿は存分に上でリラックスしてください！　あ……もしかして、伸びすぎて背中の筋が痛くなったりしているのでありますか!?」
みほ「ううん、それは大丈夫だけど……」
優花里「ですよね！　下で支えている私にも、西住殿の身体の柔軟性が伝わってきますから。なんというか、戦車がアスファルトを走る時に履帯に装着するゴムカバーのような柔らかさです！」
みほ「あのカバーってそんなに柔らかくないような……それはいいとして、優花里さん、そろそろ上と下代わらない？」
優花里「いえ、もう少し西住殿を支えさせてください！」
みほ「でもほら、ずっと下だと……その……重くない？」
優花里「いえまったく！　というかむしろ、西住殿は見た目よりもずっと軽いですよ。しなやかさと強さを兼ね備えているこの身体が西住殿の素晴らしい指揮を支えていると思うと重さなんて全然気になりません！」
みほ「優花里さん、それはさすがにちょっと恥ずかしいんだけど……」
優花里「そうですか？　ではⅡ号戦車の機動性にティーガーⅡの強さを兼ね備えている！　っていう感じではいかがでしょうか？」
みほ「せ、戦車に例えられても……」

優花里「うーん、なかなか難しいものですね」
みほ「というわけで、そろそろわたしが優花里さんの背中を伸ばす方をやりたいんだけど……」
優花里「いえいえ、まだまだです。西住殿は日々隊長の重責に耐え、疲れが溜まっているはずです。きっと肩も背中も腰も、凝ってると思うんですよ。だからこの機会に身体をうーんと伸ばして、全身をほぐしてほしいのであります」
みほ「わたし、毎朝ジョギングしてるから肩とかそんなに凝らないよ？」
優花里「そうでありますか？　でも滅多にない合同演習の機会ですから、もっと西住殿のお役に立ちたいです」
みほ「演習じゃなくて授業ね……」
優花里「あ、そうでしたね」
みほ「ねえ優花里さん、さすがにそろそろ腰とか膝とか、つらいでしょ？　交代しようよ」
優花里「いえ、これも私にとって戦車道の鍛錬ですから。装填は腕の筋肉だけでは務まりません。下半身をしっかり据えて、腰を中心に砲弾を持ち上げ、全身の力を使って押し込む！　西住殿に少しでも近づくためには日々の鍛錬が大切であります！　なので西住殿、大船に乗ったつもりで私の背中でおくつろぎください♪」
みほ「そ、装填は確かに大変だけど……でも」
優花里「はっ！　これこそ釈迦に説法でした。お恥ずかしいです（しょんぼり）」
みほ「あ、えーっと、そうじゃなくて。ほら見て優花里さん、ほかのみんな、もう何回も上と下と交代してるでしょ？　ひとりがずーっと下ってわたしたちだけだし、これ柔軟体操だから……」
優花里「あ、そういえばそうでしたね。では……」

ピーーーーッ（笛の音）

優花里「あ、集合の笛ですね。柔軟体操の時間、終わりみたいです。行きましょう西住殿！」
みほ「結局わたしずっと上だったよー！」

電撃 G's magazinie 2015 年 4 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：山口飛鳥　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：SAINA CISSE（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園
あんこうチーム 装填手

秋山 優花里

CV:中上育実

年齢:16歳 誕生日:6月6日 血液型:O型 出身地:茨城県土浦市 好きな食べもの:母の作るカレーライス、沢庵の缶詰
好きな戦車:7TP双砲塔型

戦車のことになると積極的な、戦車道を愛する女の子。その豊富な知識がチームを助けることも。黒森峰時代のみほを知っていて、彼女にあこがれて加入しています。

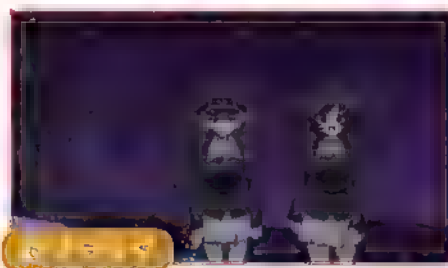
YUKARI AKIYAMA

知りたい情報は絶対に入手! 秋山殿は偵察任務がお好き?

サンダース戦前には、独自に相手校へ潜入して試合に参加する戦車の情報を入手。OVAでもアンツィオ高校に潜入し、秘密兵器の情報を手に入れています。

▲店員に扮してコンビニの定期船で潜入。潜入後は生徒に紛れ込みます。

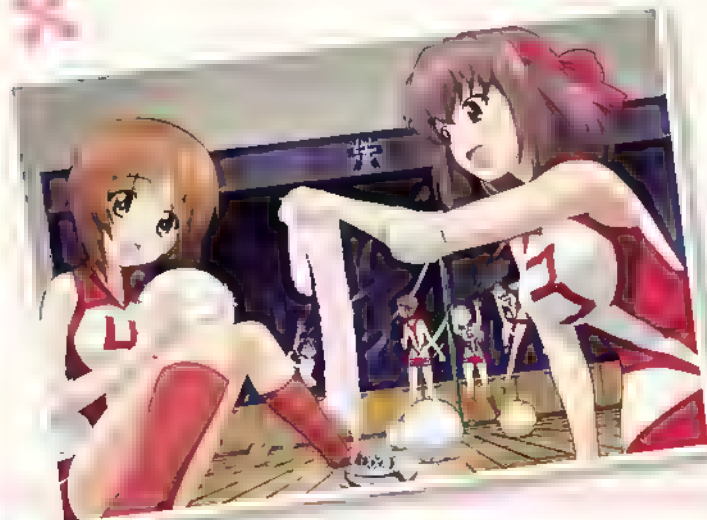
◀全体ブリーフィングでケイを質問攻め。あまりに聞き過ぎて生徒でないことがバレ、逃走するハメに。

▶交戦前にみほといっしょに偵察。みほに「徹甲弾では正面装甲を抜けない」と忠告を。

◀降伏勧告による停戦の間、エルヴィンといっしょに偵察。詳細な配置を把握して帰還します。

「ぜひ見ていただきたいものがあるんです!!」

EPISODE 14
MIHO & HANA & TEAM AHIRU

近藤「西住先輩お疲れ様です。このタオル、使ってください」
みほ「ありがとう」
近藤「今日は私たちの練習に来てもらって本当に助かりました！」
みほ「ううん、こっちこそ呼んでくれてありがとう♪」
近藤「先輩は戦車道だけじゃなくて、バレーもやってたんですか？」
みほ「バレーは体育の時間でしかやったことないんだけど」
近藤「とてもそうは思えません。スパイクがどこに打たれるのか完璧に予測してますし、なによりあれだけ動いても全然息が乱れてないなんてすごいです！」
みほ「毎日ジョギングしてるから、体力はあるのかも」
近藤「ジョギングですか！　わかりました。私たちも毎日走り込んでますけど、まだ足りなかったということですね！」
みほ「そうかな？　わたしよりバレー部のみんなのほうが本当に練習熱心で、すごいと思うけど」
近藤「はい。バレー部復活のその日まで、練習あるのみです！」
磯辺「五十鈴さーん！　いきますよ……それっ!!」
華「えいっ！」
（スカッ）
磯辺「惜しい！　もう少しです」
華「す、すみません。私、球技はあまり得意ではなくて……」
磯辺「大丈夫です！　コツはカンタンです。少しだけボールに集中して、後は根性！　五十鈴さんならできます。きっとやれます!!」
華「ボールに集中……もう1本お願いします！」
磯辺「わかりました……それっ！」
華「はいっ！」
（ズドドーン！　とスパイクが決まる）
河西「は、初めて当たった……」
佐々木「すごいスパイク……」
磯辺「やりました！　最高のスパイクです!!」
華「そうですか？」
磯辺「ええ！　戦車の装甲も貫かんばかりのスパイクでした!!」
華「狙いを定めて一瞬に賭けるというのが、華道や砲撃と少し似ているような気がします。それで、同じような感覚で集中できるのかも知れません」
磯辺「バレーが戦車道に……華道もそうだとするとバレーはすべてのものに通じているのかもしれない……やはり我々の選択は間違っていなかった！　なあ、みんな!!」
河西・佐々木「はい！　キャプテン!!」
みほ「みんな盛り上がってるみたい」
近藤「キャプテン、うれしそうですね」

近藤「ところで西住先輩と五十鈴先輩、部活はなにかされてるんですか？」
みほ「わたしは、やってないけど」
華「私も、部活は特になにも」
河西「じゃあ、ぜひバレー部に入部してください！　ふたりとも全国、いや世界を狙える逸材です！」
佐々木「一緒に、代々木第一体育館を目指しましょう！」
磯辺「おふたりが入部してくれたら、バレー部が6人になります。つまりバレー部復活です！　やったな近藤、私たちの苦労が報われるときが来た！（涙）」
近藤「はいキャプテン！（涙）」
華「みほさん、このままでは私たち、バレー部員になってしまいそうですけど……」
みほ「あ、あの、磯辺さん」
磯辺「はい！」
みほ「ごめんなさい、バレーはたまに練習に混ぜてもらうくらいがちょうどいいかなって……だって、バレー部の皆さんみたいにうまくできる自信ないし……」
華「すみません、同じ理由で私も、入部は控えさせていただければ・・・」
近藤「そ、そんな！」
磯辺「待つんだ近藤！」
近藤「キャプテン？」
磯辺「これはバレーボールが私たちに教えてくれているのかもしれない」
佐々木「どういうことですか？」
磯辺「確かに今日、西住隊長と五十鈴さんはバレーを楽しんでくれただろう。しかし、ふたりにはすでに戦車道と華道という心に決めた道があるんじゃないのか？」
近藤「!!」
磯辺「私たちも戦車道は楽しい。好きだといってもいい。しかし考えてみてくれ。我々の心の中に常にあるものはなんだ？」
河西「バ、バレーボール……」
磯辺「そうだ!!『いつも心にバレーボール！』この志をともにする人間を見つけてこそ、真のバレー部復活になるんだ!! よーし、燃えてきたー!!!」
3人「はい！　キャプテン!!」
（ダーッと駆け出すバレー部4人）
みほ「わ、悪いことしちゃったかな」
華「なんだかよくわかりませんが、よかったのではないでしょうか」
みほ「あはは……（汗）」

電撃G's magazine 2015年5月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田直良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

"よこみち"の登場人物やアニメでの活躍を振り返る

を紹介します! 第14回

県立大洗女子学園
アヒルさんチーム 車長兼装填手

磯辺 典子

CV：菊地美香

年齢：16歳　身長：143cm　血液型：A型
出身地：茨城県大洗町　好きな食べもの：カルビ
好きな戦車：M3 スチュアート

バレー部チームのキャプテンでセッター。サンダース戦では敵フラッグ車に向けて発煙筒をサーブで投てきしました。

NORIKO ISOBE

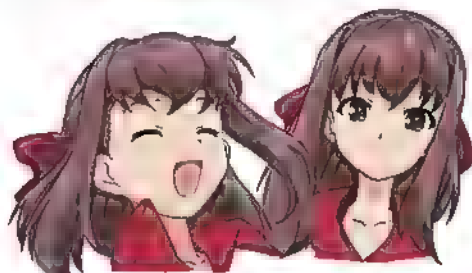
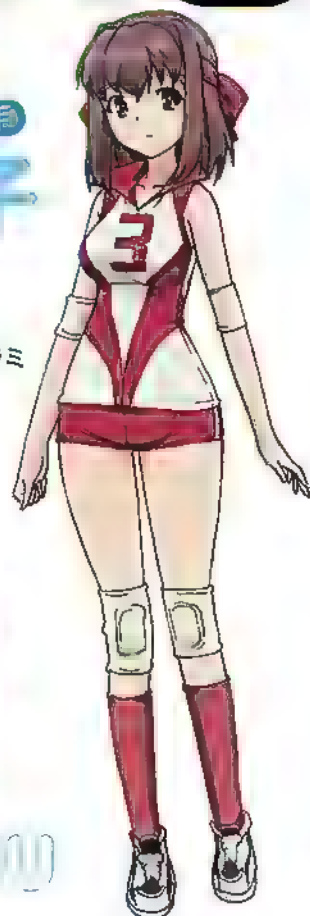
県立大洗女子学園
アヒルさんチーム 通信手

近藤 妙子

CV：吉岡麻耶

年齢：15歳　身長：167cm　血液型：AB型
出身地：茨城県北茨城市　好きな食べもの：ハラミ
好きな戦車：シャーマン（全部）

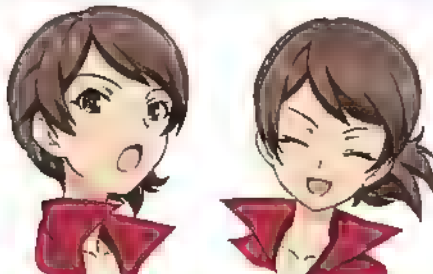
ハチマキがトレードマークでジャンプサーブが得意。何事にも一生懸命だけど、ときに空気が読めていないことも。

TAEKO KONDOU

県立大洗女子学園
アヒルさんチーム 操縦手

河西 忍

CV：桐村まり

年齢：15歳　身長：170cm　血液型：A型
出身地：茨城県ひたちなか市　好きな食べもの：骨付きカルビ　好きな戦車：M36

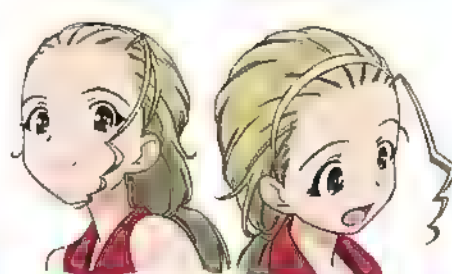
バレーボールではアタッカーで、前向きな性格な一方で短気。黒森峰戦ではマウスを封じるための操縦を成功させています。

SHINOBU KAWANISHI

県立大洗女子学園
アヒルさんチーム 砲手

佐々木 あけび

CV：中村桜

年齢：15歳　身長：165cm　血液型：A型　出身地：茨城県ひたちなか市　好きな食べもの：ニューヨークステーキ　好きな戦車：M47

カチューシャがチャームポイントで、バレーボールではブロッカー。おっとりとしていて我慢強い性格の持ち主です。

AKEBI SASAKI

バレー部最大の見せ場 マウスの砲塔に乗る

黒森峰の超重戦車マウスを封じるため、アヒルさんチームがマウスの上に乗って砲塔を押さえ、奇策の最重要キーに。マウスの撃破に多大な貢献を果たしました。

▼カメさんを踏み台にしてブロック。横から見るとホント無茶ですよね。

◀マウスの砲塔との押し合いで、車内から押し戻そうとするふたりがほほえましいです☆

EPISODE 14 MAKO & SAKI & KARINA

桂利奈「冷泉センパイ！　これですよこのレースゲーム！『ファイナルグランプリ』！」

麻子「んー？　ふぁ～ぁ（あくび）」

桂利奈「さ、座ってください！」

麻子「私になにをやらせようというんだ……」

桂利奈「わたし今このゲームにハマってるんですけど、なかなかタイムが伸びなくて悩んでるんですよー。冷泉センパイは戦車の運転がものすごくうまいから、きっとゲームでもスゴイと思うんです！」

麻子「仮にそうだったとしても、それは意味が無いんじゃないのか……ふぁ～ぁぁ……」

桂利奈「ライン取りとかブレーキング、シフトチェンジのタイミングを参考にします！　なので、ぜひぜひお願いします！紗希からもお願いして！」

紗希「(ぺこり)」

麻子「まぁ、やってもいいが正直いまは眠い。すまないが別の日でもいいか？　できれば午後だと助かる」

桂利奈「むー、じゃあコレならどうですか！　ランキング1位のタイムを出せば、この武部センパイからもらったケーキバイキングの無料……」

麻子「なにをしている。早く始めるぞ」

桂利奈「さすが冷泉センパイ！　じゃあさっそく、操作方法なんですけど……」

麻子「いい。車の運転はどれもたいして変わらない」

桂利奈「!?　じゃ、じゃあ、このコースの基本攻略なんですけど……」

麻子「必要ない。走ればわかる」

桂利奈「!?!?……（スゴイ自信!!）」

麻子「始めるぞ」

桂利奈「あいっ！　お願いします！　後ろで紗希も冷泉センパイのこと応援してます！　……って、あれ？　いない？」

――ゲームスタート！

麻子「ふぁぁぁ……眠い……」

桂利奈「ん？　1周目はなんかフツー」

麻子「だいたい、休日の午前中はちゃんと寝るべきだろう」

桂利奈「えええええっ!?　2周目でファステストラップを20秒以上更新!?」

麻子「甘いものがタダで食べられると聞いて来てみたら、ゲームセンター……間違いなく沙織の入れ知恵だな」

桂利奈「ヘアピンカーブで周回遅れの車を！　抜いた!?　どうやったらこんな狭いコーナーで抜けるんですか!?」

麻子「ちゃんと車1台分の隙間があった」

桂利奈「ぜんぜん見えませんでした！」

麻子「イン側のタイヤ半分、ゼブラゾーンに乗り上げても低速コーナーを回ってる最中ならたいした影響は無い……荷重がかかるのはアウト側だからな……ふぁぁぁ～あ……」

桂利奈「そ、そうだったんですかー!!!　て、でも、どうすればあのラインに乗せられるんですか？」

麻子「それは……こんなかんじで……ここから、こうだ。ふぁ～ぁあ……」

桂利奈「ぜんぜんわかりません!!」

麻子「見たままやればできるだろう……」

桂利奈「ううう一！　やっぱりこの人になにかを教わるのは無理なのかも！」

紗希「……」

桂利奈「あ！　紗希、どこ行ってたの？」

紗希「……」

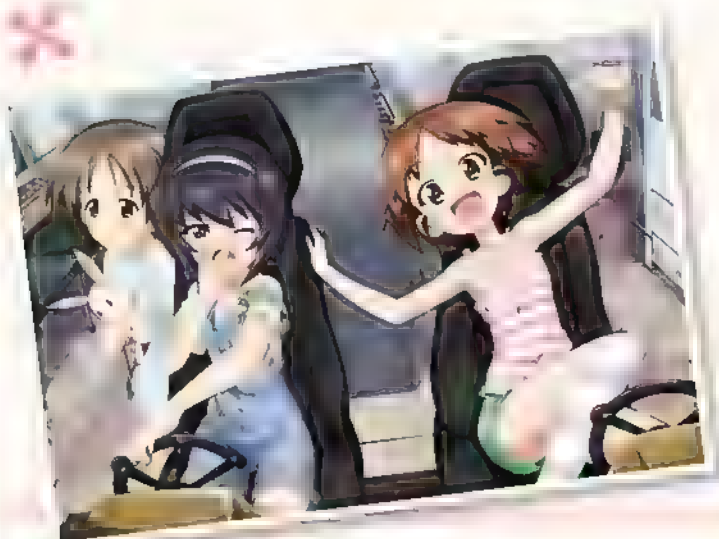
桂利奈「そのぬいぐるみ……クレーンゲームやってたのか！ていうか紗希、クレーンゲーム得意だったんだね！」

紗希「‥ ‥」

桂利奈「ちょっと、どこ見てるの紗希！　いま冷泉センパイがすごいドライビングを……」

――ゲーム終了！

麻子「ランキング1位……ケーキバイキングはいただいた」

桂利奈「わわわ――っ！　かんじんな最終コーナーからホームストレッチへの立ち上がりを見逃したよ！　あそこが一番難しいのにー！」

電撃G's magazine 2015年6月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）監修：杉本功

県立大洗女子学園 ウサギさんチーム 装填手
丸山 紗希

CV：小松未可子

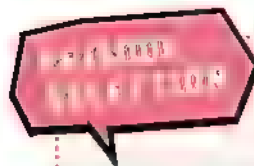
年齢：15歳　身長：150cm　血液型：AB型　出身地：茨城県大洗町
好きな食べもの：日本そば　好きな戦車：M36

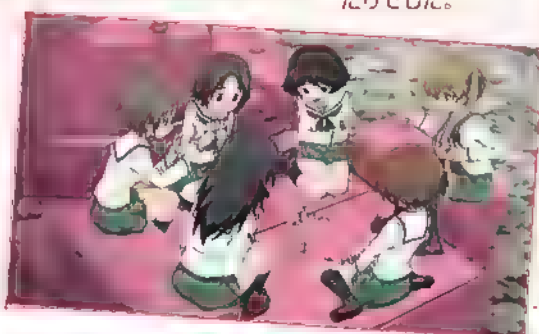
いつもひとりで物思いにふける、おとなしい女の子。黒森峰戦ではエレファントの薬莢を捨てるハッチの存在を指摘。ゼロ距離でも撃ち抜けなかった敵の撃破に貢献しました。

県立大洗女子学園 ウサギさんチーム 操縦手
阪口 桂利奈

CV：多田このみ

年齢：15歳　身長：145cm　血液型：O型　出身地：茨城県那珂市
好きな食べもの：ラーメン　好きな戦車：KV-2

考えるより先に行動する積極派。趣味はアニメ鑑賞で、ハードディスクの残量をいつも心配しているとか。返事が「はい」ではなく「あい」なのがかわいらしい♪

お荷物からの脱皮!? 1年生チームの成長

聖グロリアーナ戦ではまさかの敵前逃亡。でも、黒森峰戦では独自の戦法で重駆逐戦車2輌を撃破。戦車道を通じて大きく成長したのが彼女たちです！

▼敵との遭遇前にトランプ。当時はどのチームも似たり寄ったりでした。

◀全員で手をつなぎ、心をひとつにして、フラッグ車同士の一騎打ちを真剣に見守る姿に胸が打たれます。

EPISODE 16 NEKONYA & SAORI & YUKARI

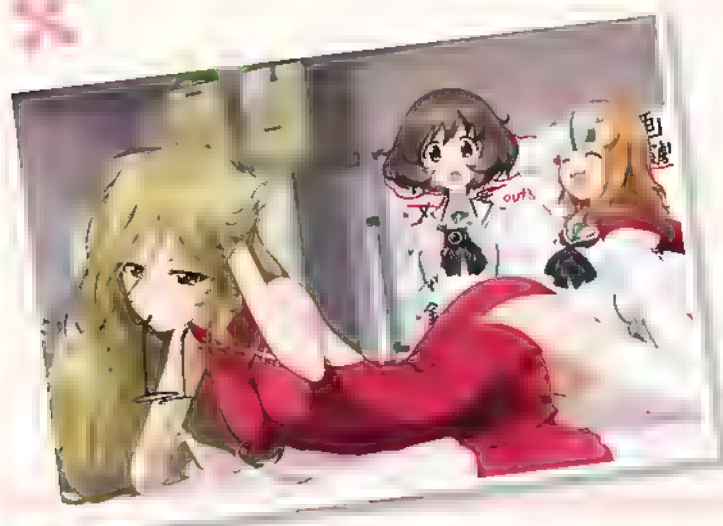
沙織「ねこにゃーさん、今日放課後ヒマ？」
ねこにゃー「え……？　家に帰ってゲームするだけだから、ヒマといえばヒマだけど……」
沙織「じゃあさ、ちょっと付き合って♪」
ねこにゃー「……？」

＊　＊　＊

ねこにゃー「こ、ここは？」
沙織「演劇部の部室だよ。ここならいろんな衣装があるし」
ねこにゃー「あ、あの……武部さんは、ボクになにを？」
沙織「来月、ミス大洗コンテストが開催されるんだよ」
ねこにゃー「そんなコンテストがあるんだ……知らなかった」
沙織「でね、うちの学校からも出場すべきかなって」
ねこにゃー「ゆ、優勝できるかどうかはわからないけど、学校の代表として参加するのはいいことだよね。武部さん、がんばって」
沙織「なに言ってるの？　参加するのはねこにゃーさんだよ」
ねこにゃー「ボクも武部さんのこと応援す……って、えええ⁉　ボクが出るの？」
沙織「ねこにゃーさんって背がスラッと高くて、スタイル抜群だし」
ねこにゃー「全然スラッとしてないよ、ボク」
沙織「猫背だからそう見えるだけで、背筋を伸ばせばモデルみたいな立ち姿になるよ」
ねこにゃー「そ、そうなの？　でもボク、ミスコンテストに出られるような顔じゃ……」
沙織「なーにとぼけてるの。わたし知ってるんだから、ねこにゃーさんがメガネ外した時の顔（サッ……とねこにゃーのメガネを取る）」
ねこにゃー「わわっ！　め、メガネ返して……」
沙織「あとでね♪」
優花里「おおおー！　なんという美形！　かわいいというより、美人という言葉の方が合いますね！」
ねこにゃー「あ、えーっと、君はたしか……」
優花里「撮影担当の秋山優花里です。武部殿の依頼で参上しました。猫田殿、今日はよろしくお願いします！」
沙織「まずは写真選考を突破しないとね。というわけで今日はこのわたしが、ねこにゃーさんをバッチリメイクアップ＆ドレスアップするから！」
ねこにゃー「ひいいい……」

――30分後――

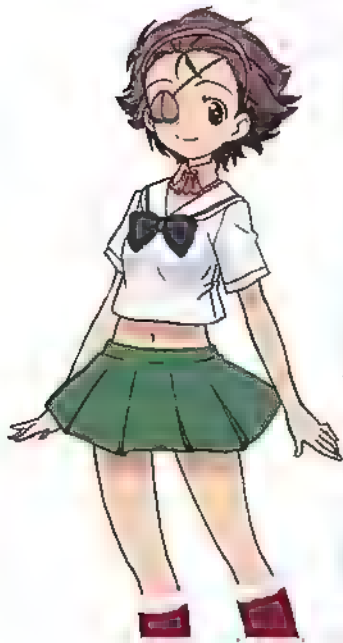
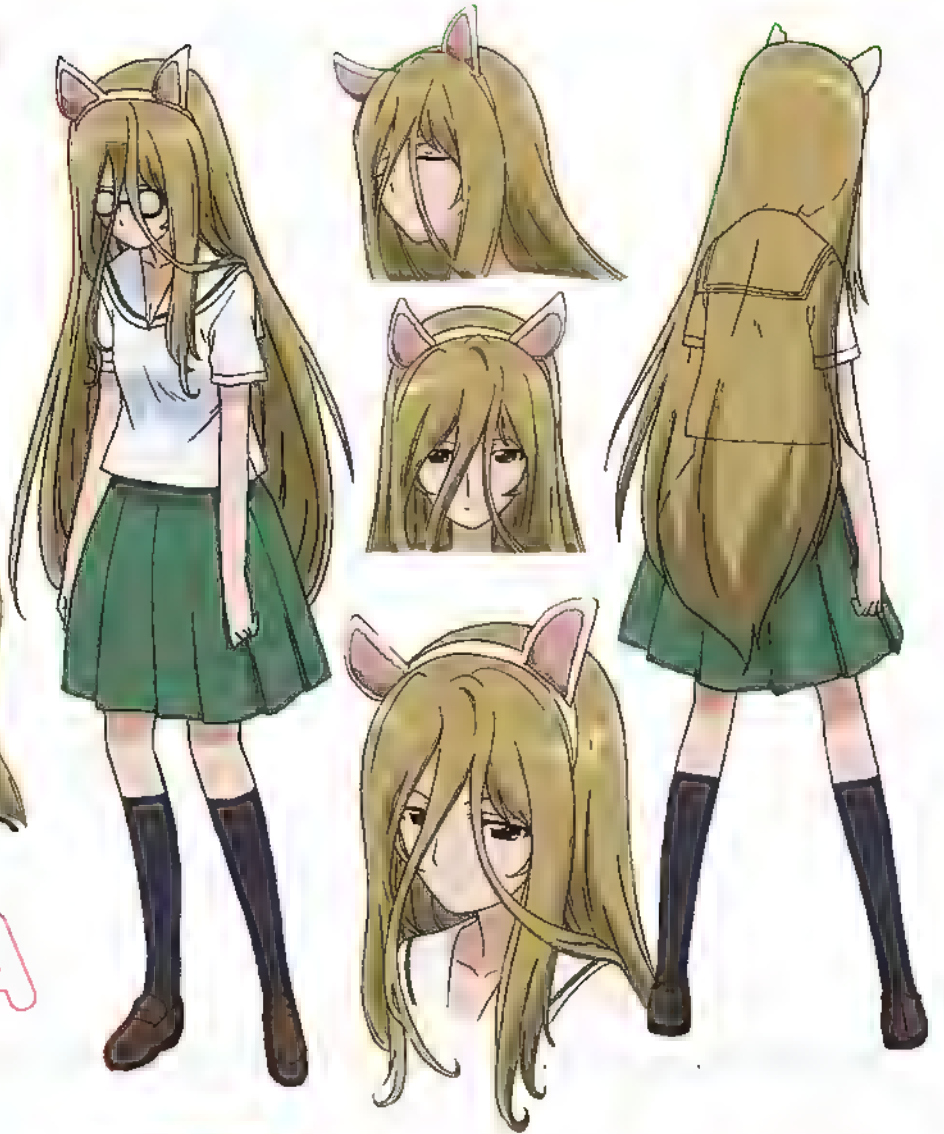
沙織「これでよし、と！」
優花里「素晴らしいです……もともと美人だった猫田殿がさらに磨きをかけられて、まるで女優さんみたいです！」
沙織「衣装もバッチリ、ヘアもメイクも完璧。いや～、素材がいいからやりがいあったよ」
ねこにゃー「ほ、ほんとかなぁ……」
沙織「ほんとほんと。さ、ゆかりん、バンバン撮って！」
優花里「了解です！　MG34同軸機銃のごとく連射します！（カメラを連写）」
沙織「銃身が焼けるまでいっちゃって♪」
ねこにゃー「しゃ、写真を撮られるのは恥ずかしいなぁ……」
沙織「ここまで来て恥ずかしがっててどーすんの？　もっとポージングとか工夫して」
ねこにゃー「ぽ、ポーズ……こんな感じでいいかな」
沙織「いいよいいよ～、もう少しお尻上げてみようか」
ねこにゃー「こ、こう……？」
優花里「セクシーであります！」
沙織「あとさ、髪をかき上げて……」
ねこにゃー「こう？」
沙織「メガネのつるを軽く、くわえてみよっか」
ねこにゃー「こ、これでいい？」
優花里「おおおおー！　さらにセクシーになりました！」
沙織「これでミス大洗コンテスト、写真選考通過間違いなしね！」

――その後、ねこにゃーがミス大洗コンテスト本選に出場したか否かは、さだかではないという――

電撃G's magazine 2015年7月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

県立大洗女子学園
アリクイさんチーム 車長※通信手
ねこにゃー
CV：葉山いくみ

年齢：16歳　身長：168cm　血液型：B型　出身地：茨城県鉾田市　好きな食べもの：ポテトチップ　好きな戦車：レオパルドII

長身だけど腰が低い、おとなしい女の子。オンライン戦車ゲームが好きで、ゲーム内の知り合いのふたりとチームを結成しました。メガネを外すと実は美人さん……♡

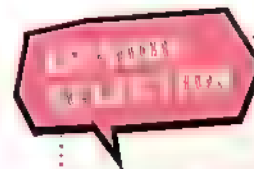
NEKONYA

県立大洗女子学園
アリクイさんチーム 操縦手
ももがー
CV：倉田雅世

年齢：15歳　身長：155cm　血液型：AB型　出身地：茨城県取手市　好きな食べもの：ピザ　好きな戦車：メルカバMk.4

思いきりのいい性格。ゲームの経験は豊富だけど実際の操縦は初心者レベルだとか。語尾に「なり」「もも」を付けることも。

県立大洗女子学園
アリクイさんチーム 砲手※装填手
ぴよたん
CV：上坂すみれ

年齢：17歳　身長：168cm　血液型：O型　出身地：茨城県水戸市　好きな食べもの：牛丼　好きな戦車：チャレンジャーII

付き合いのいい性格で、ねこにゃーの誘いに応じて参戦しました。語尾に「だっちゃ」「ぴよ」と付けることがあります。

アリクイさんチームの貴重な活躍シーン

黒森峰戦を前に戦車を探すみほに、ねこにゃーが参加を希望した際、三式中戦車が駐車場に放置されているのを教えてくれました。決勝では開始直後に撃破されますが、その際偶然フラッグ車の盾となっています。

EPISODE 17
MIHO & DARJEELING & ORANGE PEKOE

ダージリン「こんな言葉を知ってる？『人は海のようである。ある時は穏やかで友好的、ある時は時化(しけ)て悪意に満ちている』……」

みほ「え？」

オレンジペコ「アインシュタインですね」

ダージリン「さすがはペコ。よく勉強しているわね。フフッ」

オレンジペコ「ありがとうございます」

みほ「……」

ダージリン「西住さん、どうかいたしました？」

みほ「いえその、ダージリンさんと海水浴はとてもうれしいんですけど」

ダージリン「イギリスは海洋国。だから私たち聖グロリアーナ女学院の淑女は皆、海に親しむことを是としているのよ。好敵手であるあなたにもぜひ、海を楽しんでもらおうと思ったのだけれど」

みほ「はい、お天気もよくて海もきれいですし、最高です！……と言いたいところなんですけど、素直に楽しむのはちょっと難しいかな、って」

ダージリン「あら、それはどうして？」

みほ「ちょっと気になることがあるというか、なんというか……」

ダージリン「まあ、遠慮なさらずに仰って」

みほ「えっと、その、まずわたしたちは、どうしてひとつの浮き輪にふたりで入ってるんでしょう？　あまりこういう使い方はしないような……」

ダージリン「あら、そのほうが楽しいじゃない。確かに私たちは戦車道ではライバル同士。でも、こうして一緒にいることで生まれるものもあるわ。Adversity makes strange bedfellows……逆境は奇妙な仲間を作る」

オレンジペコ「呉越同舟が比較的意味として近いですね」

ダージリン「そのような感じね。フフッ」

みほ「あのあの、それはそうかもしれませんが、ふたりで浮き輪に入っていると身動きが取れないというか、ちょっと恥ずかしいんですけど……」

ダージリン「心配は無用ですわ。私たちはなにもしなくても、オレンジペコが流麗かつ気品溢れるバタ足で私たちを運んでくれるわ」

オレンジペコ「はい。おふたりの行く先を私が掌握しているのかと思うと、とても楽しいです」

みほ「それはそれで申し訳ないような怖いような」

オレンジペコ「大船に乗ったつもりでお任せください」

みほ「これ、浮き輪なんだけど……」

ダージリン「こんな言葉を知ってる？　悲観主義者はあらゆる機会の中に問題を見いだす。楽観主義者はあらゆる問題の中に機会を見いだす」

みほ「……？」

オレンジペコ「チャーチルの言葉ですね」

ダージリン「その通り。イギリス人は恋と戦争と船では手段を選ばないのよ」

みほ「あはは……（汗）。ダージリンさんは格言やことわざをたくさん知ってますよね。こうして海に出てから、もう30個以上は聞いたと思います」

ダージリン「聖グロリアーナでは、1000個以上の格言を使いこなせないものは戦車に乗れないというルールがあるの」

みほ「ほんとですか!?」

ダージリン「冗談よ。フフフ」

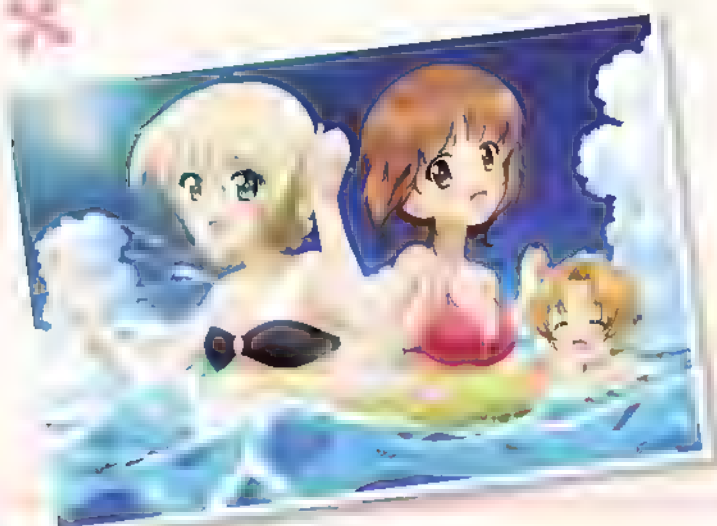
みほ「はぁ……（ため息）。ところでわたしたち、どこに向かってるんでしょうか？」

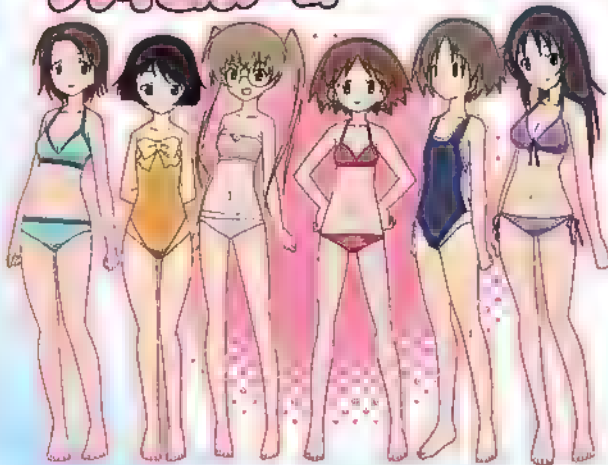
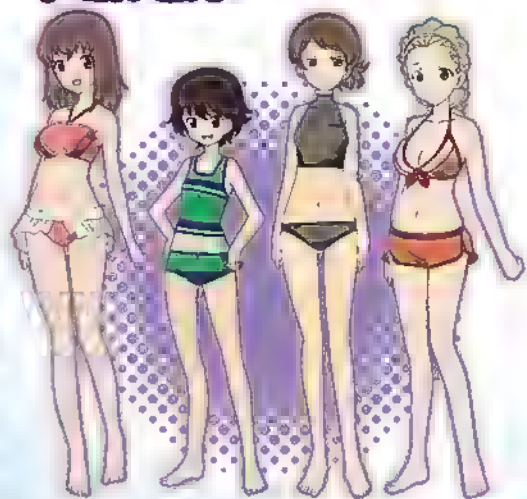
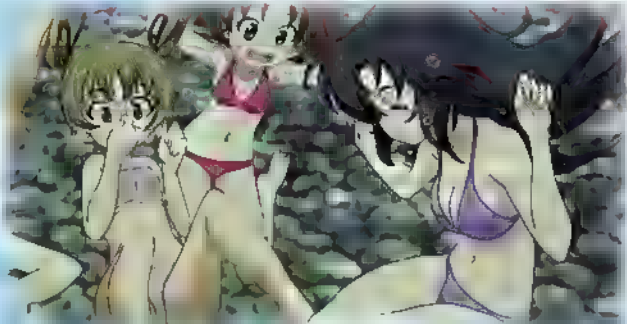
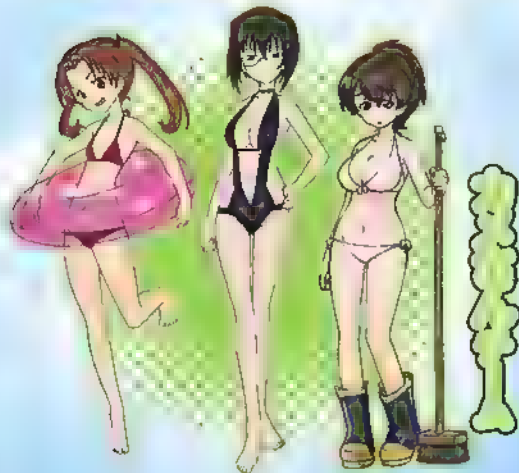
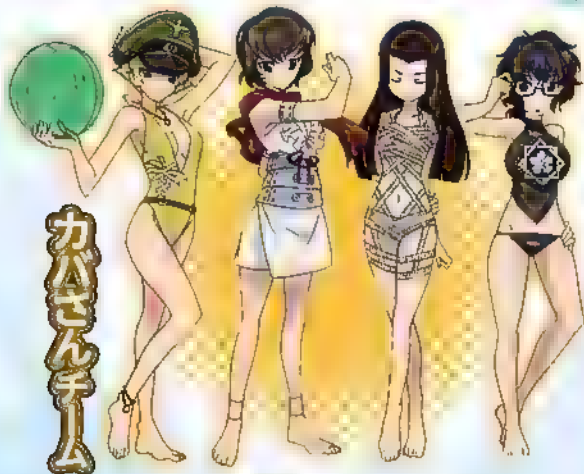
ダージリン「セイロン島。これはね、海を楽しむと同時に最高の紅茶を飲みに行く旅なの」

みほ「ええっ!?」

ダージリン「イギリス人は恋と戦争と船と紅茶では、手段を選ばないのよ……フフフ」

みほ「な、なんかすごく増えているんですけど……（汗）」

みほ（どこまで本気でどこから冗談かわからないよ～！）

電撃 G's magazine 2015年8月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：芦野由紀子（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

特典
OVAに
水着回!
県立大洗女子学園 水着コレクション
あんこうチーム
どっちを見てもキュート＆セクシー♡　大洗女子のみんなの
とってもステキな水着姿をたっぷりと収録しちゃいました。
カバさんチーム
ウサギさんチーム
アヒルさんチーム

EPISODE 18 MIHO & MAHO & KEI

ケイ「んー、やっぱり海はいいよね！」

まほ「確かに気持ちはいいが学園艦も海の上にある。あまり変わり映えはしないのではないか」

ケイ「それとこれとは別よ！　学園艦にビーチは無いでしょ？」

みほ「確かに砂浜は気持ちいいですね」

ケイ「今日は天気も最高だし、ふたりとも海をエンジョイして！」

まほ「そうだったのか、感謝する。しかし、なぜ私たちをここに？」

ケイ「みほとまほを見てると、なんかカタいんだよね〜。ケンカとかしてるんだったら一緒に海水浴でもして仲直り。そうしたらみんなハッピーじゃない！」

みほ「そんな、ケンカなんて……お姉ちゃんはいつも頑張っているから」

まほ「そうか、そういう訳でもないのだが難しいものだな」

ケイ「そうなの？　お節介だった？」

みほ「いえ、お姉ちゃんと海水浴なんて久しぶりです。ケイさん、ありがとうございます」

まほ「ああ。心遣い感謝する」

ケイ「あと、私がふたりともっと仲良くなりたいっていうのも招待した理由のひとつかな。ふたりとも戦車道のグッドプレイヤーだし、タイプは全然違うけど、どっちも大好きよ」

みほ「そ、そうですか、ありがとうございます（赤面）」

まほ「随分と率直にものを言うな」

ケイ「そりゃそうよ。トークはフランクかつダイレクト！　ダージリンみたいな遠回しな言い方も悪くないけど、私だと全然似合わないんだよねー（笑）」

みほ「あはは……（汗）」

まほ「どうしたみほ？　汗をかいているようだが、水分補給はしているのか？　脱水症状を甘く見るな」

みほ「あ、この汗はちょっと違うというか……でも、気をつけるね」

ケイ「キンキンに冷えたコーラがあるよ！」

まほ「炭酸飲料か……しかし、速やかに水分を補給するならスポーツドリンクの方がいいかもしれない。もう準備はしてあるからいつでも飲めるぞ」

ケイ「あはは、妹思いのお姉さんなんだね、まほは。ファンタスティック！」

まほ「そういうものなのか？　私は当然のことをしているだけなのだが」

みほ「あ、ありがとうお姉ちゃん、ケイさん！　じゃあわたし、どっちももらうね！（こくこく、こくこく）」

ケイ「おー！　ナイスな飲みっぷり！」

みほ（ふぅ……おなかいっぱいになっちゃった）

ケイ「水分補給も終わったところで、そろそろ身体を動かそうか。ビーチバレーとかどう？」

みほ「でもわたしたち３人だし、ひとり足りませんよ？」

ケイ「オーノー。ナオミかアリサも連れてくればよかったわ」

まほ「海に来ているんだから水泳はどうだ？　あの島まで行き帰りで大体５キロ、軽い運動としてはちょうどいいだろう」

みほ「えええ!?　お姉ちゃんそれ全然軽くない……」

まほ「そうか？」

ケイ「そうだ、サーフィンしようよ！　サーフボード持って来てるからさ」

みほ「さすがサンダースって感じですけど、わたしサーフィンはやったことがなくて……」

ケイ「ノープロブレム！　私が教えてあげる。あと、ロングボードだからタンデムもできるよ」

みほ「タンデムってつまり、ひとつのボードにふたりで乗るんですか？」

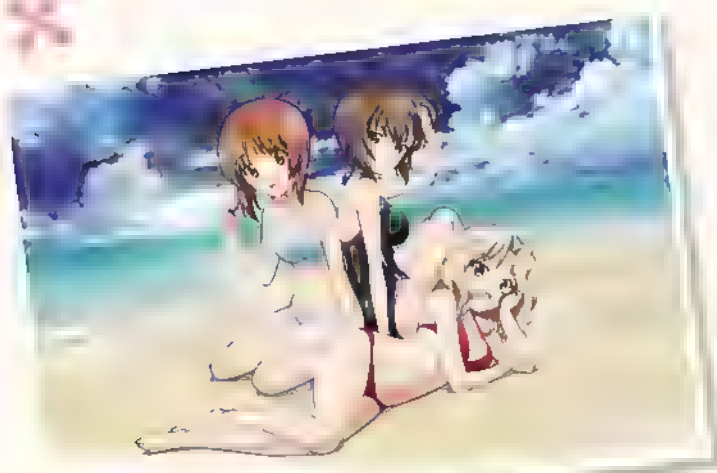
ケイ「イエス！　私がリードするから、みほは私にくっついてればいいよ」

まほ「……よし、そのタンデムというやつをやるぞ、みほ」

みほ「え？　お姉ちゃんサーフィンできるの？」

ケイ「さすが黒森峰の隊長ね！　マーベラス！」

まほ「いや、やったことはない。だがなんとかなるだろう」

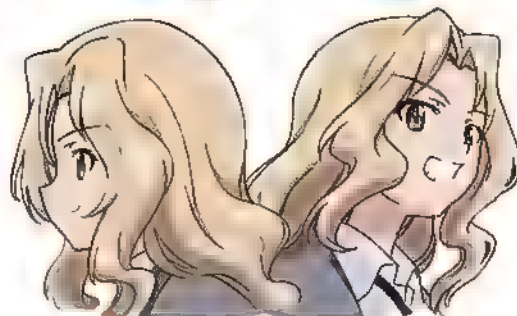
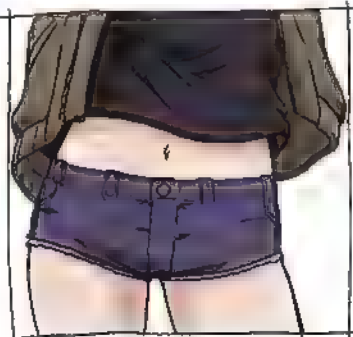
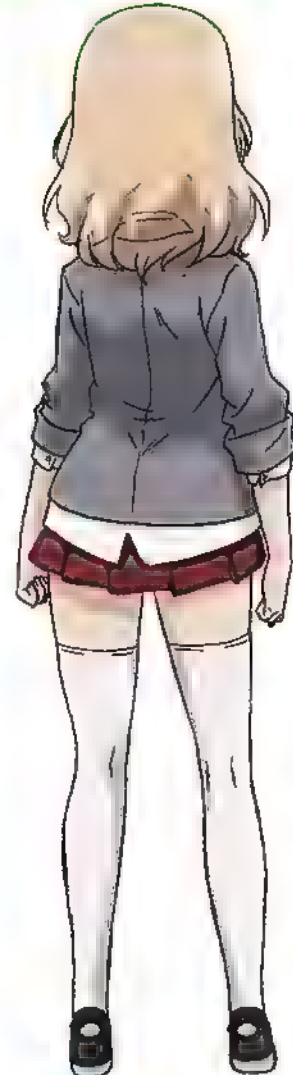
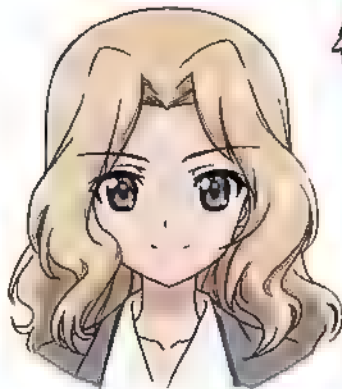
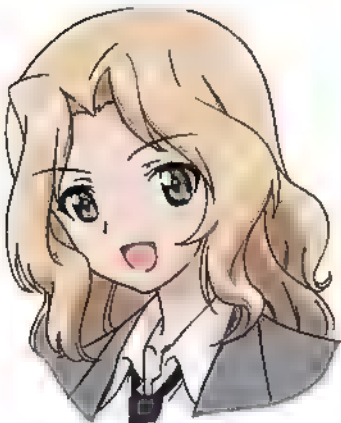
みほ「あはは……（汗）」

電撃 G's magazine 2015 年９月号掲載
文：岡田邦彦　原画・監修：杉本功　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）

サンダース大学付属高校 隊長/車長
ケイ

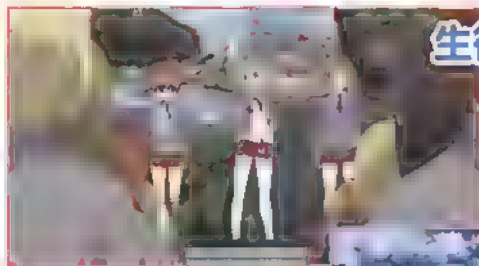
CV：川澄綾子

年齢：17歳　身長：158cm　血液型：O型　出身地：長崎県佐世保市
好きな食べもの：チーズバーガー　好きな戦車：M4シャーマン

開放的で明るい性格の女の子。そのポジティブな魅力で巨大チームをまとめています。無線傍受をしていたアリサを叱りつけたように、締めるべき時はしっかりと。

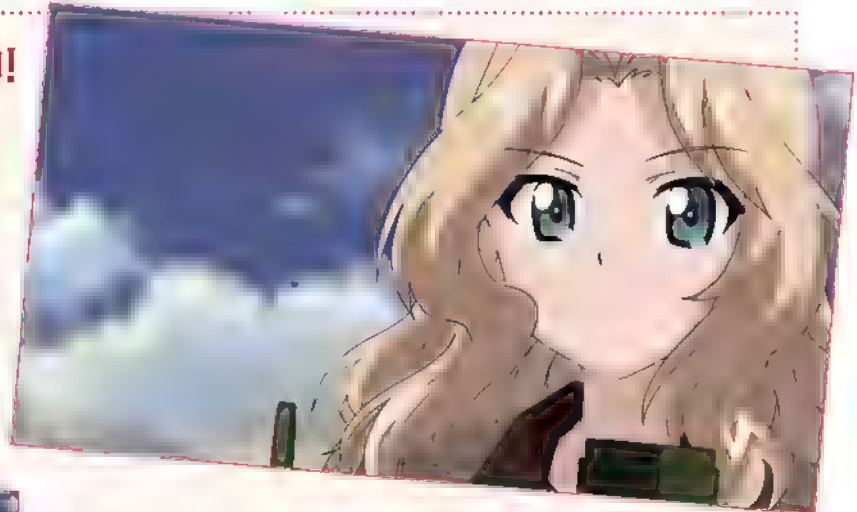
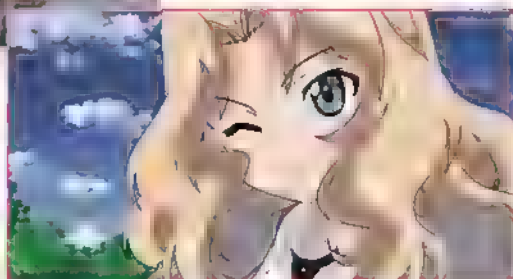
KEI

EPISODE SELECTION

ノリと大らかさとフェアプレイ精神!

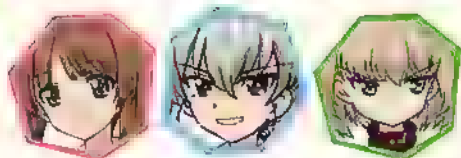
明るく楽しく、戦車道も正々堂々と勝負！　そんなケイのモットーは、大洗女子との一戦やその前後でもいかんなく発揮されています。どこのシーンを切り取って見ても、彼女の有言実行っぷりはIt's cool☆

生徒も含めてノリ重視

◀優花里が潜入した時も、会場はケイのひと声で大盛り上がり。サンダースは生徒もアメリカ的！

優花里の偵察もノープロブレム

▶サンダースに潜入した優花里にいつでも歓迎とウインク☆　誰にでもフレンドリーなんです。

あえて大洗と同じ車輌数で勝負!

▲味方への援軍を出す際も、全車で反撃はアンフェアと、大洗女子と同じ車輌数になるよう4輌だけを投入する決断！

「That's 戦車道! 道を外れたら戦車が泣くでしょ?」

EPISODE 19 MIHO & ANCHOVY & Катюша

カチューシャ「ミホーシャ、次は金魚すくいをやるわよ」
みほ「は、はい」
アンチョビ「私は、お好み焼きを買いに行きたいな」
みほ「え、でも……」
カチューシャ「アンチョビ、アンタはさっきから食べてばっかりじゃない！」
アンチョビ「ここのお祭りで出てくる食べものは、どこもおいしいぞ。うちの学校の屋台でも出してみたいくらいだ！（もぐもぐ）」
カチューシャ「とにかく次は金魚すくい！　金魚すくいが混んでたら射的！　カチューシャのお祭りを楽しむ第１次５時間計画に逆らうやつは、バルト海で運河掃除30年なんだから！」
アンチョビ「なんだそれ？」
みほ「たぶんですけど、プールのお掃除を３時間っていうことなんじゃ……」
カチューシャ「さっすがミホーシャ。よくわかってるじゃない。そうね、お祭りに誘ってくれたお礼にあとで勲章をあげる」
アンチョビ「勲章なんてもらってもしょうがないんじゃないか？」
カチューシャ「な、なんですって！　じゃあアンツィオはなにをミホーシャにあげるのよ！」
アンチョビ「そうだな〜、昼食食べ放題パスだな！　パスタやピッツァ、ドリア、カポナータ、フリットなどなど、昼休みにうちの学校に来れば好きなだけ食べていいぞ〜」
みほ「あ、ありがとうございます」
カチューシャ「ダメ！　ミホーシャはプラウダに遊びに来るの」
アンチョビ「それは、本人の自由じゃないのか？　強制したっていいことないぞ。心の赴くままに行動した方が人生楽しいじゃないか」
カチューシャ「ふん。そんなゆるゆるだからあんたの学校は、みんな昼寝ばっかりしてて、戦車道も弱いのよ」
アンチョビ「アンツィオは弱くない！　遊ぶ時は遊ぶ、休む時は休む、そしてやる時はやる。これがアンツィオ流だ」
カチューシャ「まったく、口ばっかり達者なんだから。ゴチャゴチャ言ってないでとにかくついてきなさい！」
アンチョビ「金魚すくいはまだしも、射的はさっきやったじゃないか」
カチューシャ「もう１回やりたいの！」
アンチョビ「全部外したから悔しいのか？」
カチューシャ「うっ……射撃は久しぶりだったっていうだけよ！　ノンナさえいれば、あの射的屋を店仕舞いにできたのに！」
アンチョビ「私はミニボコぬいぐるみをゲットしたぞ？　西住隊長にプレゼントしたけどな」
カチューシャ「ちょっとミホーシャ！　わたしが見てない間にこのアンチョビと仲良くなっちゃったの!?」
みほ「い、いえ、このボコのぬいぐるみ、わたしまだ持ってなくて…アンチョビさんがくれるって言うから……」
アンチョビ「そういうことだ、しかもお礼に綿あめをもらったぞ！　これもまた美味（うま）いな！」
カチューシャ「カチューシャだってさっきミホーシャにたこ焼きをおごってもらったわ。食べてて口の端についたソースも、拭いてくれたんだから」
アンチョビ「え？　たこ焼き!?　私はまだ食べてないぞ!!」
カチューシャ「フフン！　どうやらカチューシャの勝ちのようね！」
みほ「ま、まあまあ……せっかくのお祭りですから……」
カチューシャ「だってこのアンチョビがいちいちカチューシャに」
みほ「あ、見てください！　花火ですよカチューシャさん！」
カチューシャ「！　ほんとだ……きれいな花火。それに大きい」
アンチョビ「そうだな。ピッツァと花火は大きい方がいい」
カチューシャ「そうね、ブリヌイと花火は大きい方がいいわ。アンチョビもやっとカチューシャの思想を理解したみたいね。褒めてあげるわ」
アンチョビ「ん？　なにが褒められたのかよくわからないけど……まあいいか！　グラッツェグラッツェ!!」
みほ（ほっ……仲良くなってくれたみたいでよかった）

電撃 G's magazine 2015 年 10 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功

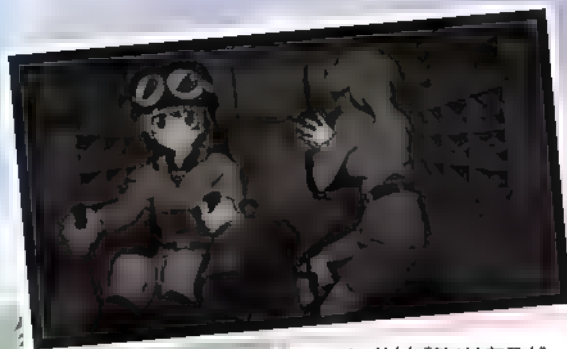
OVA を紹介します!

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER

これが本当のアンツィオ戦です!

TVアニメでは一瞬で終わったアンツィオ高校戦。その真実を知りたければOVAをチェックです！

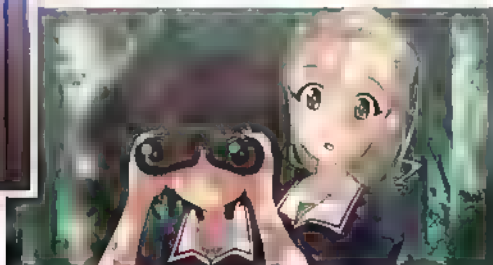
全国大会 2回戦は 対アンツィオ高校

優秀な指揮官アンチョビの尽力でアンツィオ高校は有力校に成長。でもイタリア的気質のお気楽隊員たちに頭が痛い!?

▲ノリと勢いはあるが頭脳戦は苦手。せっかくのアンチョビの作戦にもほころびが……。

◀２回戦で投入する秘密兵器があの布の下に。優花里の潜入偵察の出番です！

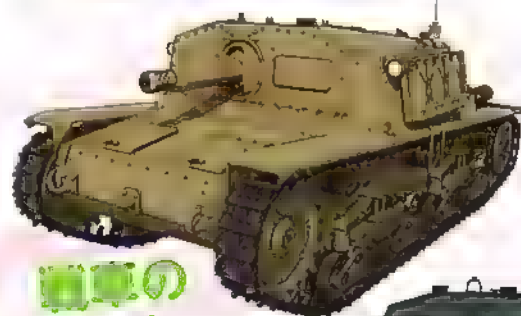
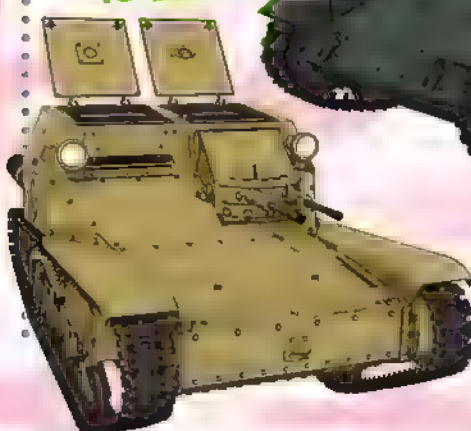
TVアニメで描かれなかった あの一戦がOVAで登場!

▲歴女たちの家で情報収集。カエサルとカルパッチョの意外な友情も描かれます。

▼偵察で敵部隊を発見！　でも報告内容を総合するとある矛盾が……

▼アンツィオのおとりを使った“マカロニ作戦”にみほの的確な指示で反撃！

スピード感のある戦車バトル!

機動力のあるイタリア製戦車が相手とあって、戦闘シーンはまるで空中戦のように疾走感たっぷり！　経験を積んで成長した大洗女子の戦いぶりにも注目です。

ウサギ

EPISODE 20
MIHO & KINUYO & YUKARI & MAKO

絹代「本日はご足労いただき、ありがとうございます」
みほ「いえいえこちらこそ、お月見に呼んでもらえるなんて、とてもうれしいです」
絹代「西住隊長や大洗女子学園の方々とともに中秋の名月を観賞したかったんです。それで、いても立ってもいられずご招待しました」
優花里「ステキな衣装まで用意していただいて、感謝の極みであります！」
絹代「月といえばウサギですから。気分を出すためにはこういったものがあったほうがよかろうと思った次第です」
麻子「なぜバニーガールなんだ……ウサギの着ぐるみとかではダメなのか？」
絹代「まだ9月ですし、着ぐるみでは蒸し暑いかと思いまして。残念なことに2着しかご用意できず、西住隊長の分が無いことについては深くお詫びします」
みほ「あ、わたしは別に普通の服装でも充分楽しめてますから……（よかった、3着無くて……）」
絹代「その代わりと言ってはなんですが、お茶はもちろんのことお団子と芋煮もご用意させていただきました。存分に召し上がってください」
麻子「言われるまでもない（もぐもぐ）……うん、ほんのり甘くておいしい」
みほ「わたしもあとでいただきますね」
優花里「縁側で食べたり飲んだりするのって、楽しいですね～」
みほ「うん！　月がとってもきれいに見えるし、風も気持ちいいから、思わず素足になっちゃった」
優花里「揺れるススキが、風流ですよね～」
麻子「そうだな（もぐもぐ）」
優花里「冷泉殿はお団子に夢中で、ススキもお月様も見てないじゃないですか」
麻子「すまんな（もぐもぐ）」

絹代「どうぞお気になさらずに。飲食もお月見の楽しみ方のひとつですから」
麻子「しかし、どうせならウサギさんチームも招待すべきだったな。月と言えばウサギなのだろう？」
絹代「もちろんご招待しましたが、ウサギさんチームの皆さんは今日、映画鑑賞会を行うとのことで」
優花里「ああ、そういえば『お月様にまつわる映画をみんなで夜通し観る』って言ってましたね。アポロン13とかスペース・カウガールとかかぐやの姫の物語とか」
絹代「『行けないわたしたちの代わりに』とのことで、このウサギぬいぐるみを送っていただいたのです」
麻子「なるほど、お団子の横に置いてあるのはそれか」
優花里「しかしそれにしても、見事な満月ですね～。戦車道の刺激溢れる日々とは打って変わって、心が静かに癒やされる感じです」
みほ「うん、そうだね」
絹代「そうですか？　わたくしは、あの月面で戦車道を行った場合どのような戦闘になるのかを、先程からずっと考えていたのですが」
みほ・優花里「えええ？」
絹代「西住隊長はどう思われますか？　やはりクレーターを利用して塹壕戦でしょうか？」
みほ「えっと、その、まったく考えてもみなかったんだけど……クレーターってどのくらいの深さなんですか？」
絹代「わかりません。わかりませんがわたくしとしては熟慮の結果、とにかく突撃するしかない！　という結論に達しました。いかがでしょうか？」
優花里「あの一、それ以前にいろいろ考えることがあると思うんですけど……重力が小さいとか、空気が無いからエンジンが動かないとか」
絹代「なるほど。まずは空気を持っていかないと戦車道になりませんね。そこから考え直します」
優花里「いやその、そうではなくてですね ……」
絹代「考えてはいけませんか？」
麻子「考えるのはいいことだ（もぐもぐ）」
みほ「あはは……（汗）」

電撃 G's magazine 2015 年 11 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　仕上げ：原田幸子　特効：古市裕一
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）監修：杉本功

知波単学園 隊長/車長

西 絹代

CV：瀬戸麻沙美

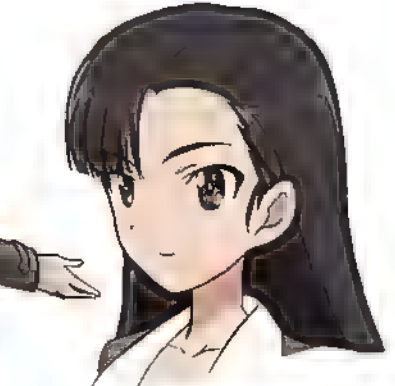
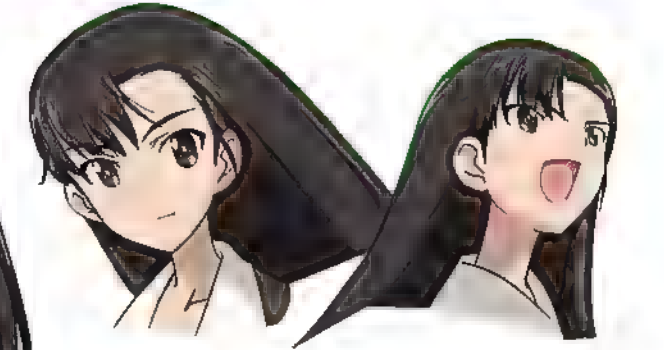
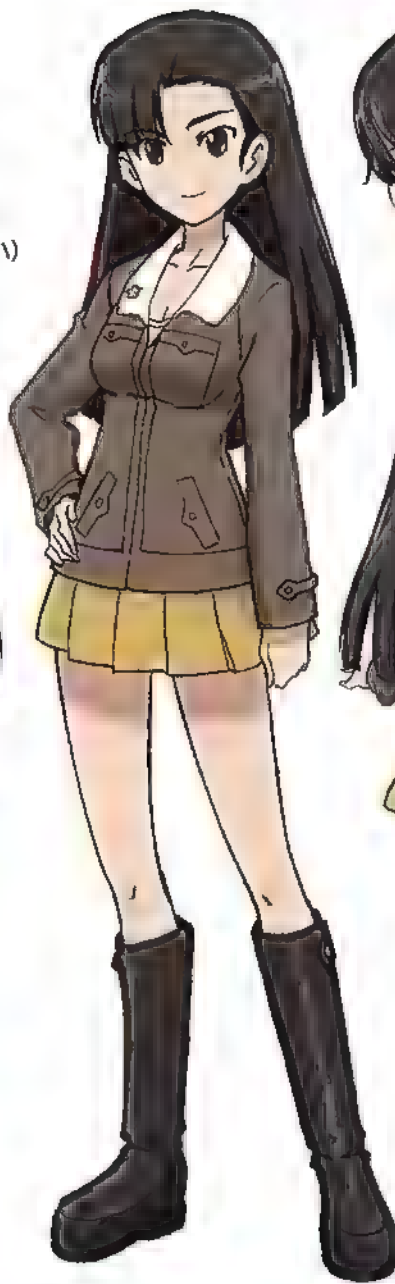
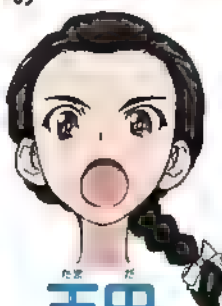
年齢：16歳　身長：163cm　血液型：O型　出身地：東京都港区
好きな食べもの：すき焼き　好きな戦車：九七式中戦車（新砲塔チハ）

長い黒髪が特徴の、誰にでも丁寧で快活な振る舞いを見せる女の子です。人の話を最後までよく聞かなかったり、社交辞令を真に受けたりするのが玉にキズだとか。

KINUYO NISHI

知波単学園の隊員たち

チハ大好き!　突撃大好き!
愛すべき知波単学園

知波単学園の生徒は突撃が大好き。やたらと突撃したがり、我慢できず突っ込むこともしばしば。でも根は真面目ないい子ばかりで、どこか憎めないんですよね。

玉田
CV：米澤円

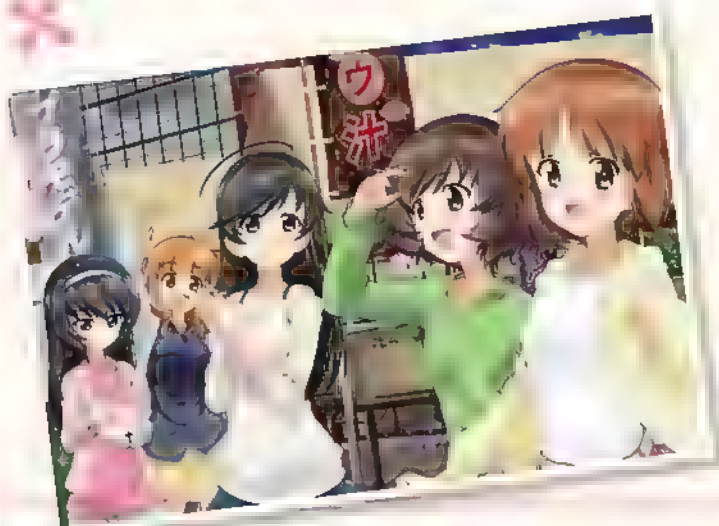
名倉
CV：石上美帆

細見
CV：七瀬亜深

寺本
CV：葉山いくみ

プラモデル
レア戦車あるよ
文祭
汁

EPISODE 21 TEAM ANKOU

優花里「おお～、ここから見ると角度的に、大洗マリンタワーがひときわカッコよく見えますねー」
麻子「タワーはいつ来てもあるんだから、祭りの時にわざわざ見るものじゃないだろう」
優花里「そうですかね？」
沙織「偉そうなこと言ってるけど、麻子もただ食べてるだけじゃん」
麻子「あんこう祭にあんこう汁を食べるのは当然だ」
華「出店で売っている食べものはひととおりいただきましたけど、どれもこれも全部おいしかったです」
みほ「あんこう祭、１年ぶりに来たけど楽しいね♪」
優花里「ええ、ただのお祭りとはひと味違いますからね。戦車プラモ組み立ての体験会とか、戦車オンラインゲームの体験会とかもあったりして」
麻子「そういえばそのゲーム体験会、さっき前を通ったんだがアリクイの３人が勝ちまくっていたぞ」
優花里「あの人たちは相当やり込んでるみたいですからね」
華「それにしても随分たくさんの人が来てるんですね」
みほ「うん。わたし、人混みはあまり慣れてないから、ちょっと人酔いしちゃいそう」
沙織「人酔いしてる場合じゃないよみぽりん！」
優花里「どういうことでありますか、武部殿？」
沙織「鈍いなーゆかりん。これだけ大勢の男の人がいるのよ？　そしてお祭りなのよ？　となるときっと、ナンパとか声をかけられるに決まってるじゃない！」
華「決まってるんですか？」
沙織「そうよ。女子高生が５人もいるんだし、男子がほっとくわけないじゃない！」
麻子「で？　さっきからされる気配は欠片もないが」
沙織「い、いまは５人で行動してるから、ナンパされにくい状況なんだよ」
優花里「なるほど。戦車道でも、隊列を組んでいる相手にはうかつに仕掛けられませんからね」
華「でも、さっき少し単独行動の時間を取ってましたけど、その間はどうだったんですか？」
沙織「えーっと……商店街のおじいちゃんからアメもらった」
麻子「やれやれ。ま、そんなところだろうな」
沙織「そ、そんなことないもん！　きっとみんなナンパしたいんだけど、ちょっとだけ勇気が足りないんだよ！」
優花里「なるほど、突撃には勇気とタイミングが重要、というわけですね！」
みほ「ふふっ。でも私はもうちょっと沙織さんやみんなと回りたいな。友達と一緒に見て回るお祭りってすごく楽しいから」
沙織「そ、そう？　みぽりんがそういうなら、たまには女の子同士もいいかもね」
麻子「たまには？　いつもじゃないのか」
優花里「西住殿の言う通りです！　わたしたちはあんこうチーム。まさに、あんこう祭に来るために名付けられたチーム名です！」
華「チームと言えば、さっきカメさんチームの皆さんをメインステージで見かけましたよ」
みほ「あ、生徒会の皆さんも来てるんだ。じゃあアリクイさんとカメさんと合流して、みんなで一緒に回ろうよ」
華「賛成ですけど、今はカメさんチームに近づかない方がいいと思いますよ」
沙織「なんで？」
華「メインステージで、あんこう踊りをエンドレスで踊っていましたから」
麻子「行けば確実に巻き込まれるな」
優花里「ひいい……」
沙織「こ、今度こそお嫁に行けなくなるよ……」
みほ「（汗）あはは……あとにしよっか」

電撃 G's magazine 2015 年 12 月号掲載
文：岡田邦彦　原画：吉田亘良　特効：古市裕一　CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）　監修：杉本功・原田幸子

あんこう音頭グラフィティー

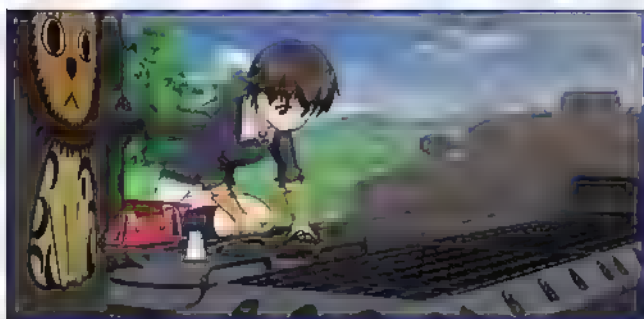
はっちゃけた曲と踊りと衣装で鮮烈な記憶を植えつけた"あんこう音頭"。このビジュアル集でその記憶を永遠のものにしてね☆

恥ずかしい踊りから士気を高める踊りへ

最初は恥ずかしがっていたあの踊りが、プラウダ戦では全員で踊って士気を高めるダンスへと昇華。みんなで踊れば恥ずかしくない!?

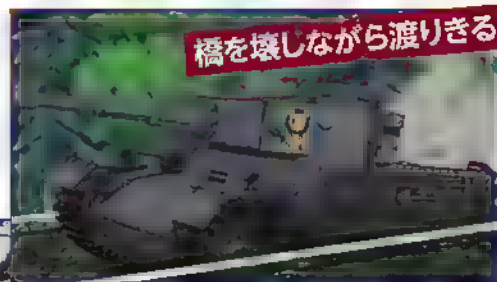
イラストノベルには未登場だけど……

ココがスゴイよ自動車部

自動車部はエピソードの主役こそ他に譲りましたが、戦車の修理、レストア、改造を一手に引き受け、黒森峰戦では操縦でも活躍。大洗女子の戦車道を裏と表から支えた功労者です！

戦車の組み立て、走行中に補修も実行

運用の難しいポルシェティーガーを最終局面まで乗りこなせたのは自動車部の力があってこそでした。

橋を壊しながら渡りきる!

▲橋を破壊して黒森峰の足止めに成功。自動車部は走行テクもすごい！

黒森峰のフラッグ車を分断

◀道をふさいで黒森峰のフラッグ車を孤立させ、2対12を1対1に！

戦車道とメンテナンスの両面で活躍!

自動車部メンバー

ナカジマ CV：山本希望

スズキ CV：石原舞

ホシノ CV：金元寿子

ツチヤ CV：喜多村英梨

EXTRA EPISODE MIHO & ARISU

愛里寿「『やってやる　やってやる　やってやるぜ♪』」
みほ「『イヤなアイツをボコボコに～♪』」
愛里寿「今日は来てくれてありがとう。……みほって呼んでいい？」
みほ「もちろん。今日は呼んでくれてありがとう、愛里寿ちゃん！」
愛里寿「……（照）」
みほ「でもボコミュージアム、すっごくキレイになったよね！前に来たときはボロボロだったのに」
愛里寿「みほのおかげ」
みほ「え？」
愛里寿「みほと試合をする前にお母様にお願いしたの。私が勝ったらボコミュージアムのスポンサーになってほしいって……試合には負けたけど、お母様はスポンサーになってくれたの。だからこれはみほのおかげ」
みほ「そうなんだ……でも愛里寿ちゃんがお願いしてくれなかったらボコミュージアムは無くなってたかもしれないし、やっぱり愛里寿ちゃんのおかげだよ。ありがとう、愛里寿ちゃん！」
愛里寿「ボコのためだから……それよりみほ、なにから観て回る？」
みほ「スペースボコンテンは絶対だし、イッツ ア ボコワールドも外せない。ボコ―テッドマンションも……あっ！　ボコのショーは何時からかな？　順番待ちとかで観られなくなったら大変！」
愛里寿「大丈夫。今日のお客はみほとわたしだけ。ボコのショーもいつでも、何回でも観られるようにお願いしているから」
みほ「ホントに⁉　じゃボコのショーに行こう！」
愛里寿「うん！」

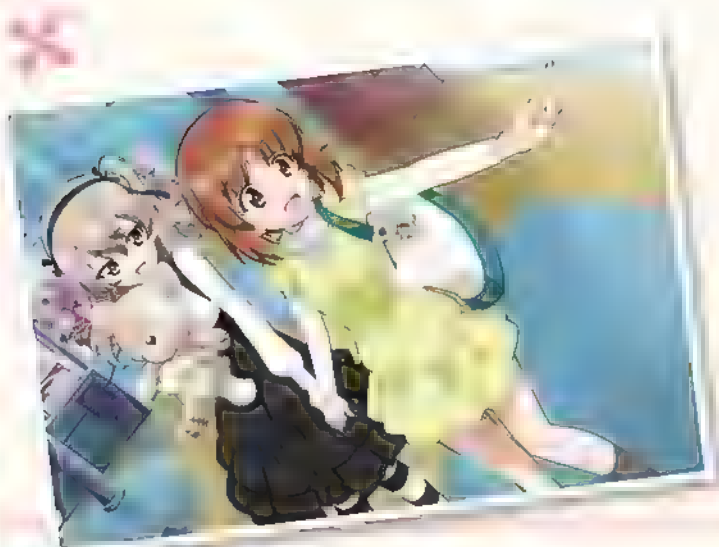
――ボコのショー観劇終了――
みほ「ボコ、今日もボコボコだったね！」
愛里寿「それがボコだから」

――ボコ―テッドマンション――
愛里寿「ボコがすっごく怖がってた。カワイイ」
みほ「それがボコだから」

――イッツ ア ボコワールド――
みほ「ボコ、いろんなボコられかたをしてたね！」
愛里寿「それがボコだから」

――スペースボコンテン――
愛里寿「ボコ、宇宙でもやっぱりボコボコだった」
みほ「ボコはいつでもどこでもボコられるから」
みほ・愛里寿「……それがボコだから‼」
みほ・愛里寿「ぷっ……あはははは！」

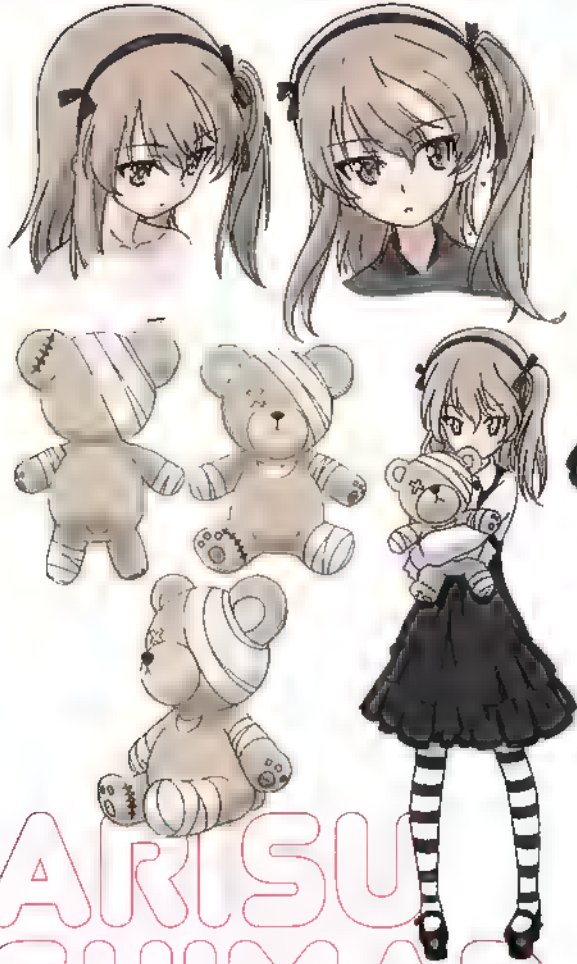
＊　＊　＊

みほ「今日は楽しかった！　ありがとう、愛里寿ちゃん」
愛里寿「ねぇ、みほ。最後にお願いがあるんだけど」
みほ「ん？　なにかな」
愛里寿「中央広場にあったクマの乗り物のこと、覚えてる？」
みほ「うん。ヴォイテクだよね」
愛里寿「お母様に頼んであれもここに持ってきてもらったの。だから、あの、その、一緒に……」
みほ「うん、一緒に乗ろう、愛里寿ちゃん！」
愛里寿「ありがとう！　みほ‼」

描き下ろし
文：岡田邦彦　原画：小倉典子　仕上げ：吉田小百合　特効：古市裕一
監修：杉本功・原田幸子

大学強化チーム 隊長兼車長

島田 愛里寿

CV：竹達彩奈

島田流戦車道師範の娘。大学に飛び級入学し、大学強化チームの隊長を務める天才少女。普段は感情を表に出さないけど、ボコの前では普通の少女に戻ります。

ARISU SHIMADA

みほと愛里寿は大好きだけど……?

ボコシリーズ

ボコの正式名称は『ボコられ熊のボコ』。弱いのに争いに首を突っ込んではケガをするため、手当の跡が残っているのだそうです。

仲間がいっぱいいる

上記のとおり、さまざまなバリエーションが存在。みほの部屋にもいくつもの種類のボコが飾られていますよ。

ボコミュージアムがある

ボコのさまざまなアトラクションが楽しめる施設。ただ人気がないのか、ほとんどお客がいないみたいです。

ガールズ&パンツァー 劇場版

GIRLS und PANZER der FILM

8対大洗女子、

今度の対戦相手は
天才少女率いる大学強化チーム

島田 愛里寿

メグミ

アズミ

ルミ

SCENE DIGEST #1

学校の垣根を超えたエキシビションマッチ開催!

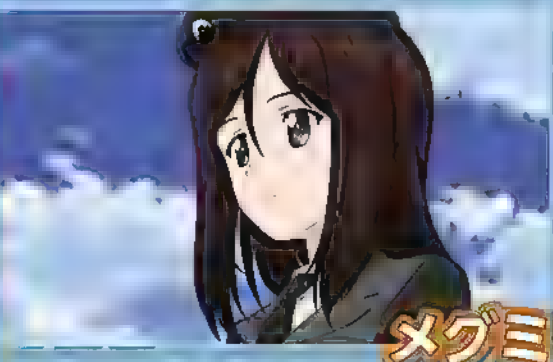
大洗女子優勝を記念して開かれた、大洗女子&知波単VS聖グロリアーナ&プラウダのエキシビションマッチ。初登場・知波単の実力は？

◀両校のエンブレムが並ぶ夢のタッグ。実力者同士の共闘にみほたちも苦しめられそう。

SCENE DIGEST #2

ボコミュージアムで少女との出会い

偶然見つけたボコミュージアムで、みんなを置いてけぼりで大はしゃぎのみほ。そんな彼女に負けじとショーで声援を送る少女の姿が。

▶奥で声援を送るのはもちろんあのコ。飛び級の天才少女の歳相応の表情が見られます。

みほの戦車道で

大洗女子のみんなはもちろん、他校の戦車道チームも勢揃いする『ガールズ&パンツァー 劇場版』。ファン大注目の最新カットをちょこっとだけですがお見せしちゃいます！　最大のピンチに立ち向かう、みほたちの活躍を確かめましょう。

30!? 大ピンチ

みほたちはどうする？

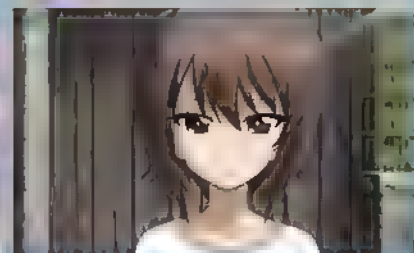
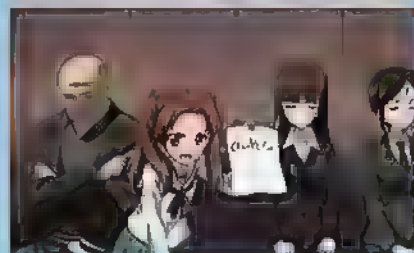
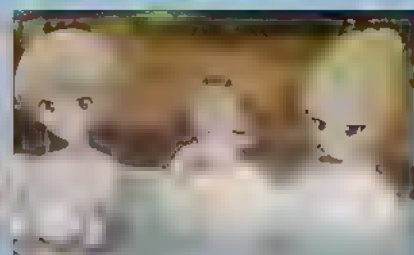
大洗女子に廃校の危機ふたたび!

TVアニメのアフターストーリーを描く劇場版。全国大会優勝で廃校撤回……と思いきや、事態はそう簡単ではありませんでした。今度の相手は大学強化チーム。30輛の相手に対してたった8輛で戦わなければならなくなった大洗女子は、圧倒的不利を覆せるでしょうか？

SCENE DIGEST #3

大洗女子の廃校が現実のものに!?

突然数日後の廃校を突きつけられた大洗女子。学園艦からの退去、戦車の接収…　最大の危機に大洗女子、そしてライバルたちは？

▶大事なボコも片付けて退艦準備をすませる。しかし相棒の戦車たちは置いていかざるを得ず・・・。

CHECK 大学強化チーム以外にも初登場キャラ多数

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
戦車道の
よこみち

ガールズ&パンツァー 戦車道のよこみち

2016年1月28日発行

●編集	電撃G'sマガジン編集部
●構成・制作	中田彩子（電撃G'sマガジン編集部） 中里一雅 小柴暁彦
●デザイン	村口敬太（株式会社スタジオダンク） 芝智之（株式会社スタジオダンク）
●協力	バンダイビジュアル株式会社 株式会社アクタス
●表紙イラスト	原　画：小倉典子 仕上げ：sano sinji 特　効：古市裕一 監　修：杉本功、原田幸子
●発行者	塚田正晃
●プロデュース	アスキー・メディアワークス 〒102-8584 東京都千代田区富士見 1-8-19 電話 03-5216-8385（編集）
●発行	株式会社KADOKAWA 〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話 03-3238-8745（営業）